

2. 調査結果（単純集計）

調査結果の標本誤差の範囲は、以下の標本誤差早見表のとおり（信頼度 95 %）

回答の比率(P) 基数(n)	10%又は 90%	20%又は 80%	30%又は 70%	40%又は 60%	50%
1,700	±1.5%	±1.9%	±2.2%	±2.4%	±2.4%
1,000	±1.9%	±2.5%	±2.9%	±3.1%	±3.2%
500	±2.7%	±3.6%	±4.1%	±4.4%	±4.5%
300	±3.5%	±4.6%	±5.3%	±5.7%	±5.8%
100	±6.0%	±8.0%	±9.2%	±9.8%	±10.0%

2. 調査結果（単純集計）

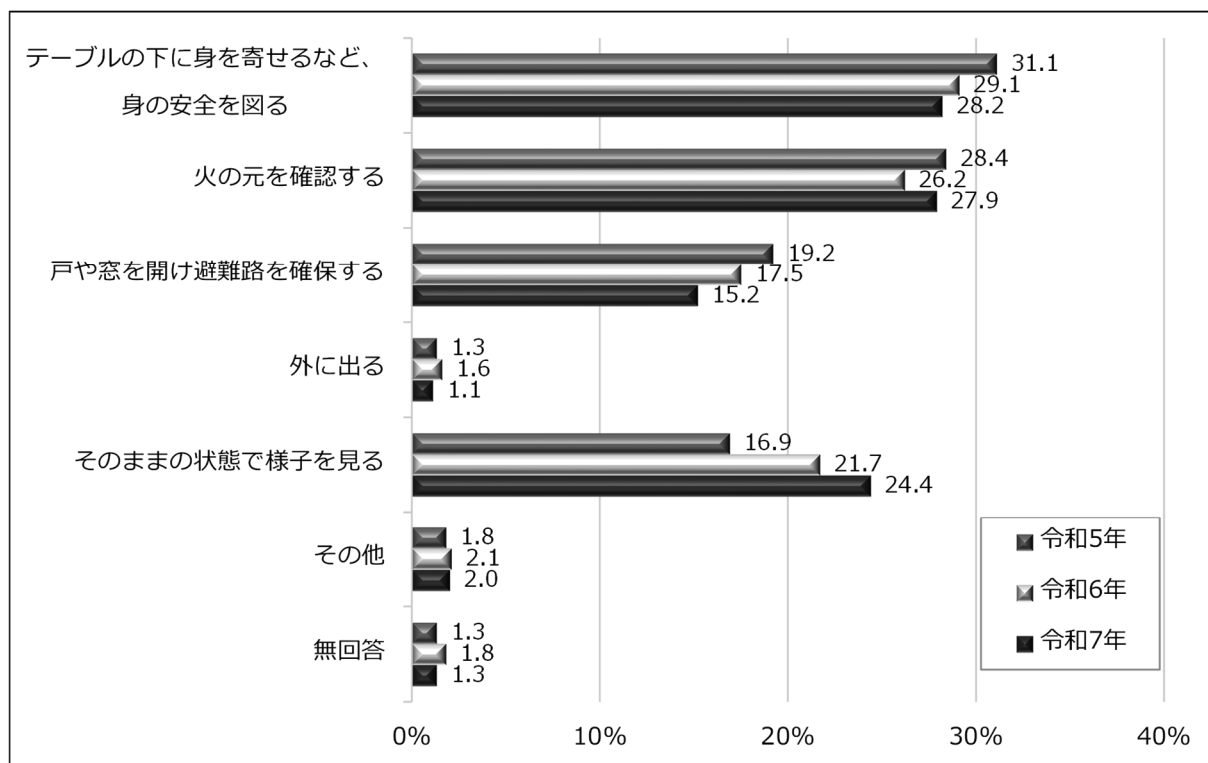
（1）地震に関すること

■地震発生時の行動等について

Q 1 あなたが家にいる時、揺れを感じました。あなたは、まず何をしますか。次の中から 1 つだけ選んでください。

	令和5年 (n=1,356)	令和6年 (n=1,645)	令和7年 (n=1,700)
テーブルの下に身を寄せるなど、身の安全を図る	31.1	29.1	28.2
火の元を確認する	28.4	26.2	27.9
戸や窓を開け避難路を確保する	19.2	17.5	15.2
外に出る	1.3	1.6	1.1
そのままの状態様子を見る	16.9	21.7	24.4
その他	1.8	2.1	2.0
無回答	1.3	1.8	1.3

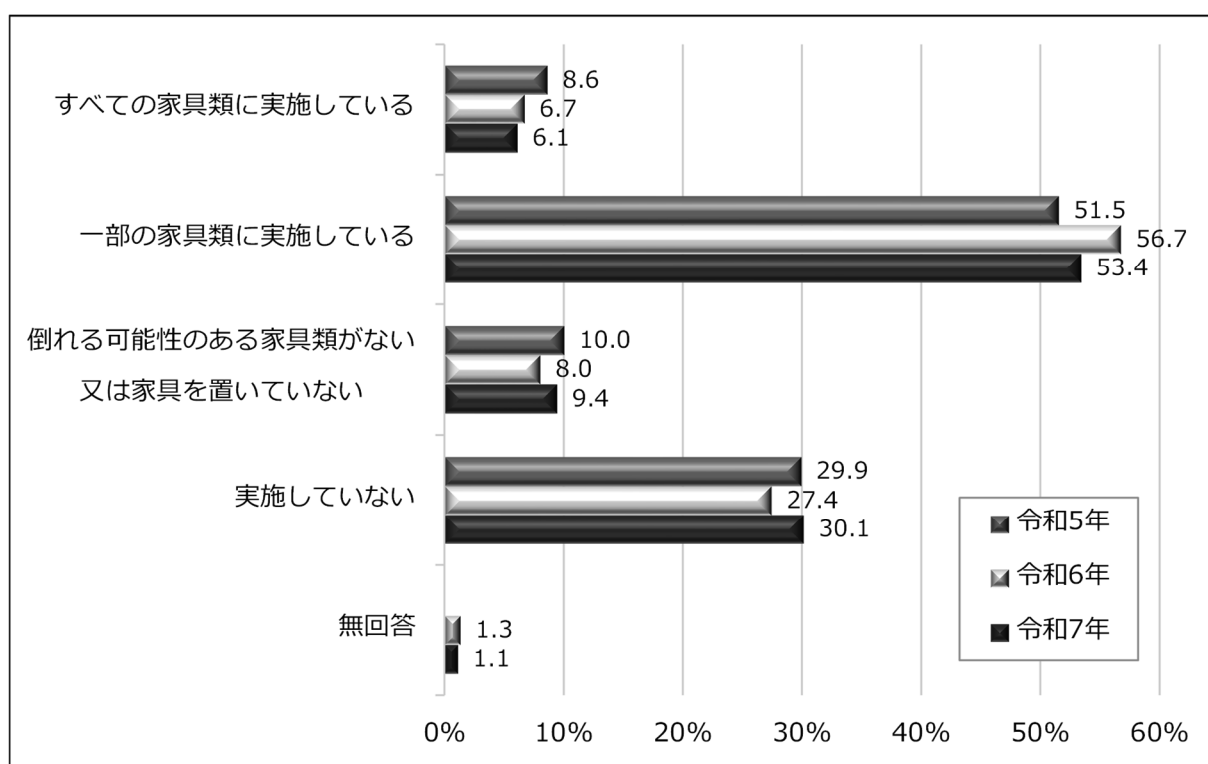
※令和 5 年の設問は「あなたが家にいる時、東京都に非常に大きな地震が発生することを知らせる緊急地震速報がテレビやスマートフォンから流れました。あなたは、まず何をしますか。次の中から 1 つだけ選んでください。」



■ 家庭での地震に対する備えについて

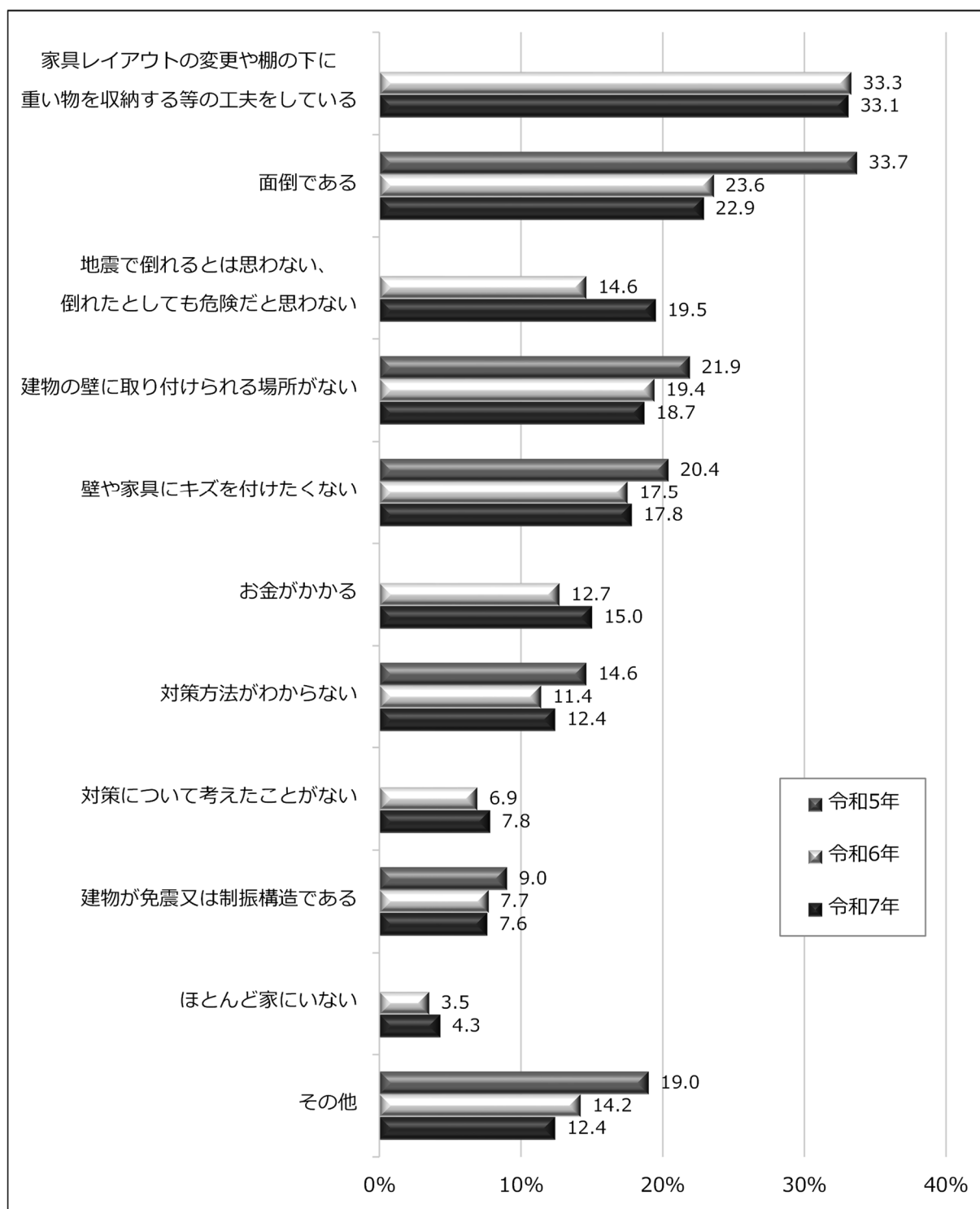
Q 2 あなたの家での、「家具類の転倒・落下・移動防止対策」の実施状況を、次の中から1つだけ選んでください。

	令和5年 (n=1,356)	令和6年 (n=1,645)	令和7年 (n=1,700)
すべての家具類に実施している	8.6	6.7	6.1
一部の家具類に実施している	51.5	56.7	53.4
倒れる可能性のある家具類がない又は家具を置いていない	10.0	8.0	9.4
実施していない	29.9	27.4	30.1
無回答	0.0	1.3	1.1



Q3 Q2で「一部の家具類に実施している」又は「実施していない」を選んだ方にお聞きします。家具類の転倒・落下・移動防止対策を実施していない又は一部にしか実施していない理由を、次の中からいくつでも選んでください。（複数回答可）

	令和5年 (n=1,092)	令和6年 (n=1,383)	令和7年 (n=1,406)
家具レイアウトの変更や棚の下に重い物を収納する等の工夫をしている	-	33.3	33.1
面倒である	33.7	23.6	22.9
地震で倒れるとは思わない、倒れたとしても危険だと思わない	-	14.6	19.5
建物の壁に取り付けられる場所がない	21.9	19.4	18.7
壁や家具にキズを付けたくない	20.4	17.5	17.8
お金がかかる	-	12.7	15.0
対策方法がわからない	14.6	11.4	12.4
対策について考えたことがない	-	6.9	7.8
建物が免震又は制振構造である	9.0	7.7	7.6
ほとんど家にいない	-	3.5	4.3
その他	19.0	14.2	12.4



(2) 119番通報に関すること

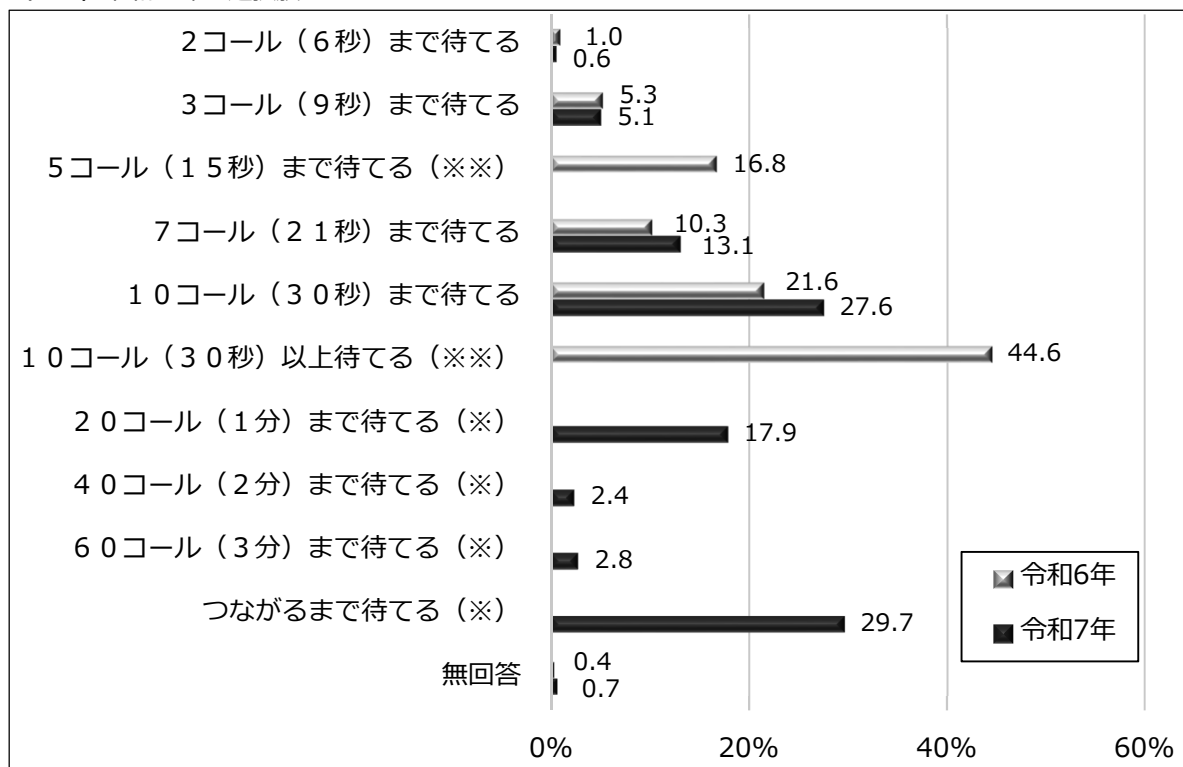
■ 119番通報がつながりにくい場合の行動について

- Q4 通報の増大により、119番通報がつながりにくい場合があります。
あなたは119番通報がつながりにくい場合、何コールまで待つことができますか。
次の中から1つだけ選んでください。

	令和6年 (n=1,645)	令和7年 (n=1,700)
2コール（6秒）まで待てる	1.0	0.6
3コール（9秒）まで待てる	5.3	5.1
5コール（15秒）まで待てる（※※）	16.8	-
7コール（21秒）まで待てる	10.3	13.1
10コール（30秒）まで待てる	21.6	27.6
10コール（30秒）以上待てる（※※）	44.6	-
20コール（1分）まで待てる（※）	-	17.9
40コール（2分）まで待てる（※）	-	2.4
60コール（3分）まで待てる（※）	-	2.8
つながるまで待てる（※）	-	29.7
無回答	0.4	0.7

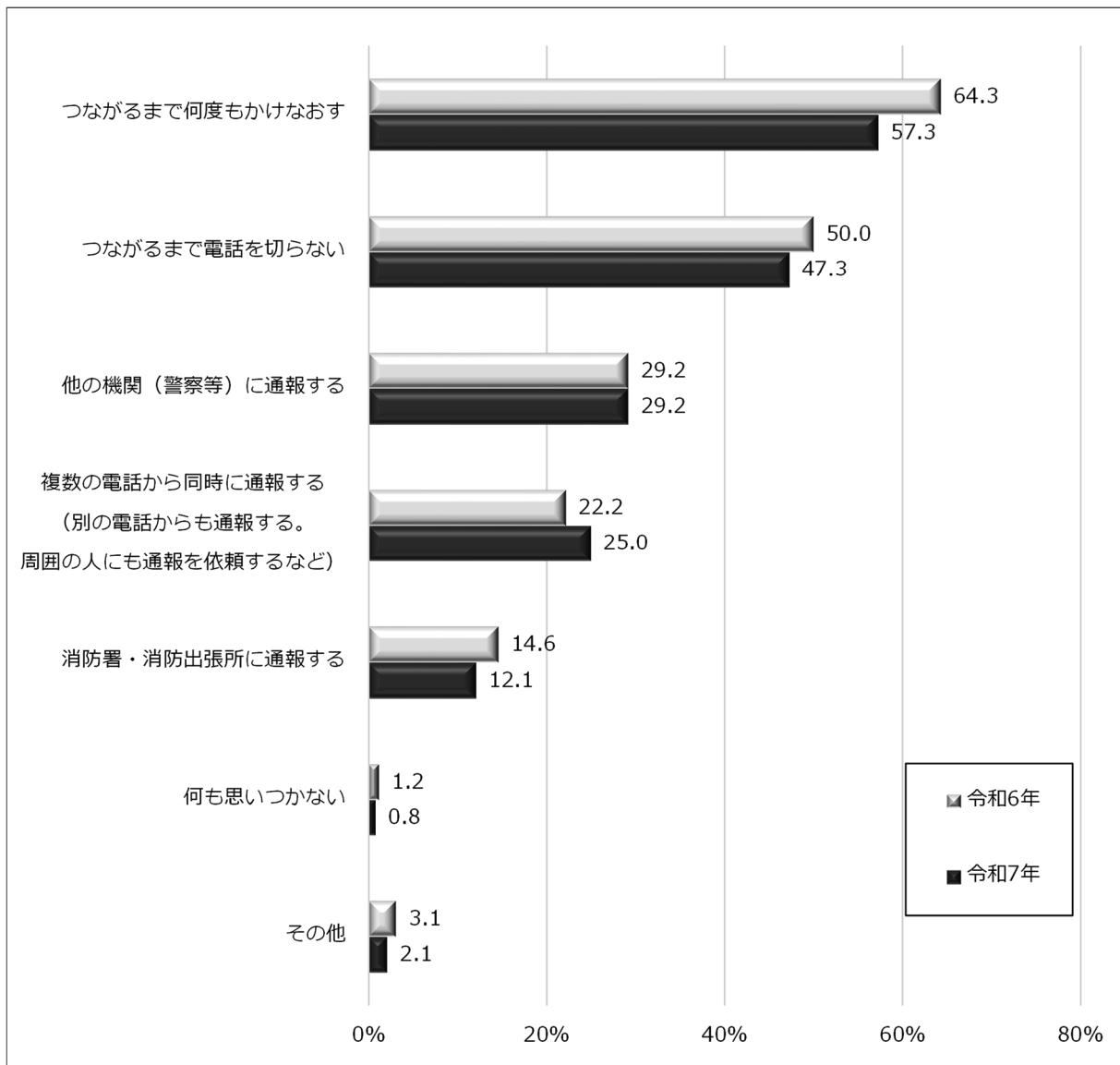
（※）令和7年に追加した選択肢

（※※）令和6年の選択肢



Q 5 119 番通報がつながりにくい場合、あなたはどのようにしますか。次の中からいくつでも選んでください。(複数回答可)

	令和6年 (n=1,645)	令和7年 (n=1,690)
つながるまで何度もかけなおす	64.3	57.3
つながるまで電話を切らない	50.0	47.3
他の機関（警察等）に通報する	29.2	29.2
複数の電話から同時に通報する（別の電話からも通報する。周囲の人にも通報を依頼するなど）	22.2	25.0
消防署・消防出張所に通報する	14.6	12.1
何も思いつかない	1.2	0.8
その他	3.1	2.1



(3) 救急に関すること

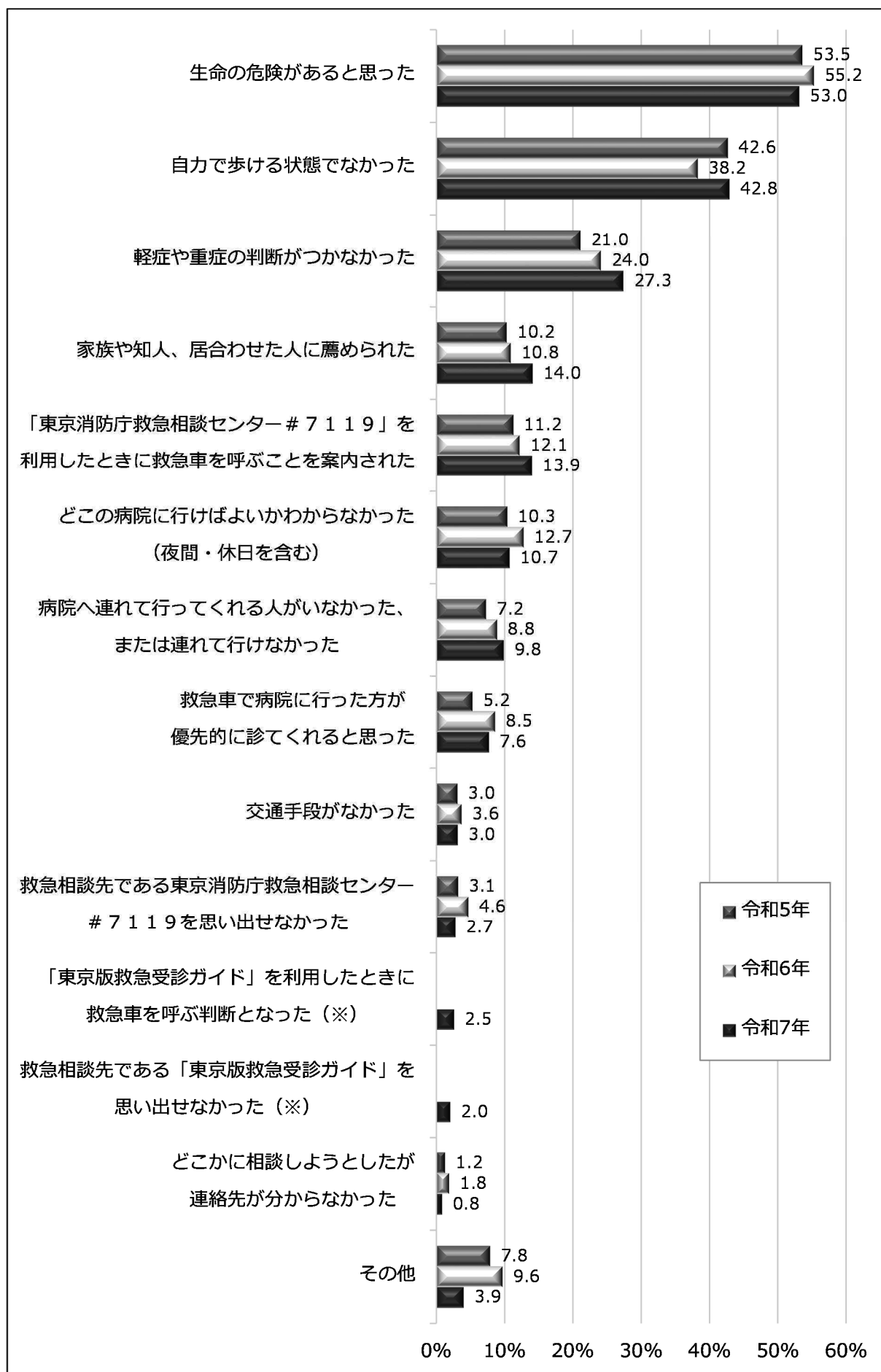
■今までに、救急車を呼んだ（119番通報した）ことがある方について

Q6 あなたが、救急車を呼んだ理由を、次の中からいくつでも選んでください。（複数回答可）

	令和5年 (n=667)	令和6年 (n=934)	令和7年 (n=920)
生命の危険があると思った	53.5	55.2	53.0
自力で歩ける状態でなかった	42.6	38.2	42.8
軽症や重症の判断がつかなかった	21.0	24.0	27.3
家族や知人、居合わせた人に薦められた	10.2	10.8	14.0
「東京消防庁救急相談センター#7119」を利用したときに救急車を呼ぶことを案内された	11.2	12.1	13.9
どこの病院に行けばよいかわからなかった（夜間・休日を含む）	10.3	12.7	10.7
病院へ連れて行ってくれる人がいなかった、または連れて行けなかった	7.2	8.8	9.8
救急車で病院に行った方が優先的に診てくれると思った	5.2	8.5	7.6
交通手段がなかった	3.0	3.6	3.0
救急相談先である東京消防庁救急相談センター#7119を思い出せなかった	3.1	4.6	2.7
「東京版救急受診ガイド」を利用したときに救急車を呼ぶ判断となった（※）	-	-	2.5
救急相談先である「東京版救急受診ガイド」を思い出せなかった（※）	-	-	2.0
どこかに相談しようとしたが連絡先が分からなかった	1.2	1.8	0.8
その他	7.8	9.6	3.9

（※）令和7年に追加した選択肢

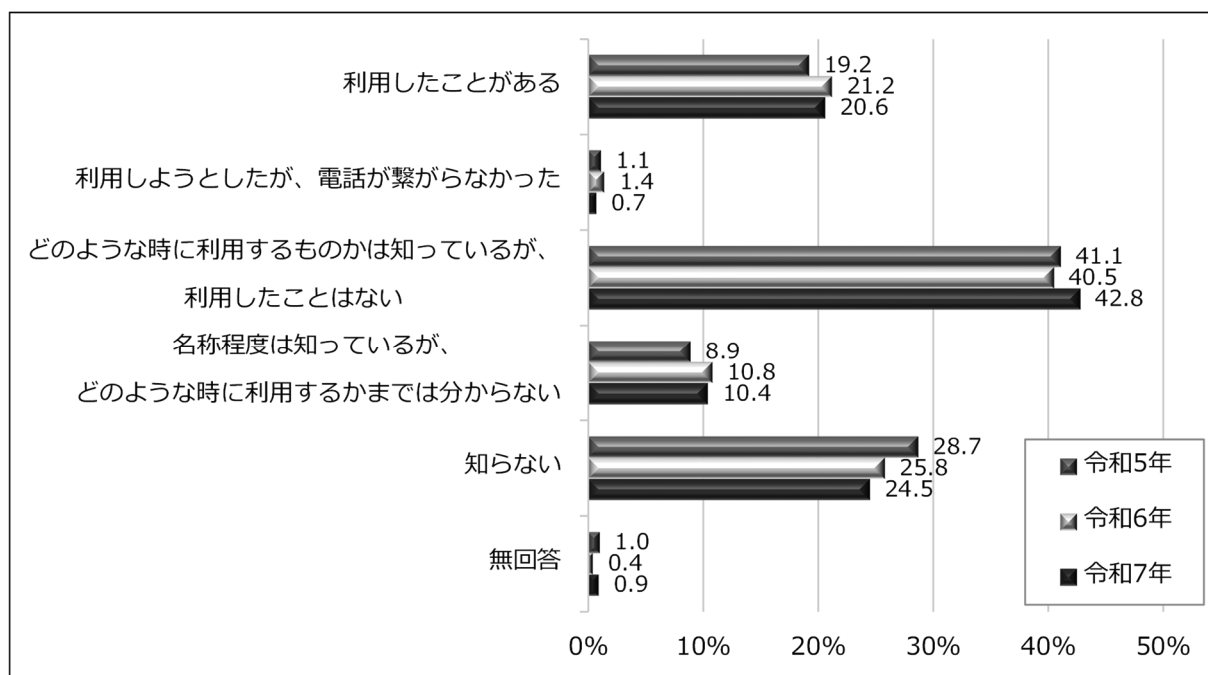
	令和5年 (n=1,333)	令和6年 (n=1,645)	令和7年 (n=1,664)
救急車を呼んだことはない	50.0	41.6	44.7



■「東京消防庁救急相談センター」及び「東京版救急受診ガイド」について

Q7 「病院へ行くか、救急車を呼ぶか」迷った時に電話で相談できる「#7119※」東京消防庁救急相談センターを知っていますか。または、利用したことがありますか。次の中から1つだけ選んでください。

	令和5年 (n=1,356)	令和6年 (n=1,645)	令和7年 (n=1,700)
利用したことがある	19.2	21.2	20.6
利用しようとしたが、電話が繋がらなかった	1.1	1.4	0.7
どのような時に利用するものかは知っているが、利用したことはない	41.1	40.5	42.8
名称程度は知っているが、どのような時に利用するかまでは分からない	8.9	10.8	10.4
知らない	28.7	25.8	24.5
無回答	1.0	0.4	0.9

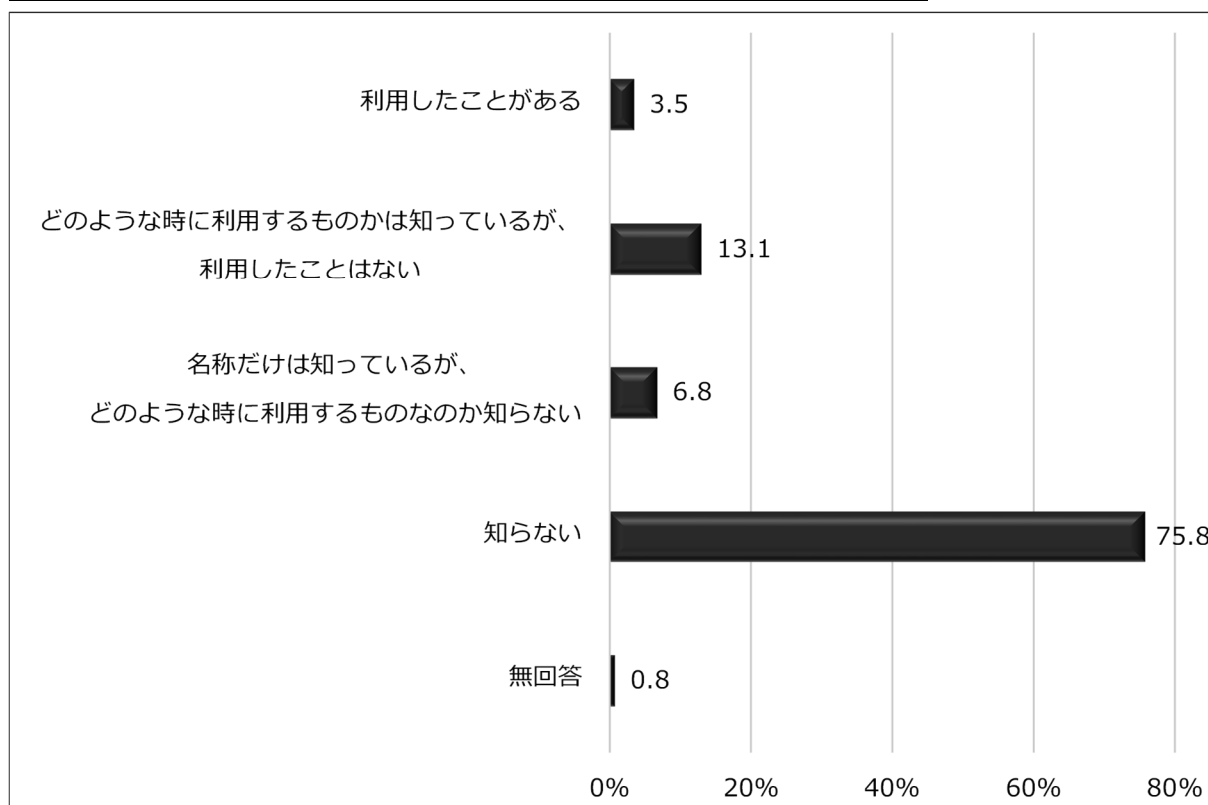


※「#7119」東京消防庁救急相談センターは、急な病気やけがして、病院へ行くか救急車を呼ぶか迷ったときの相談窓口です。

相談医療チーム（医師、看護師、救急隊経験者等）が24時間・365日で対応しています。

Q 8 あなたは、病院へ行くか、救急車を呼ぶか迷ったときに、ご自身で病気やけがの緊急度が確認できる「東京版救急受診ガイド※」（冊子版またはウェブ版）を知っていますか。次の中から1つだけ選んでください。

	令和7年 (n=1,700)
利用したことがある	3.5
どのような時に利用するものかは知っているが、 利用したことはない	13.1
名称だけは知っているが、 どのような時に利用するものなのか知らない	6.8
知らない	75.8
無回答	0.8



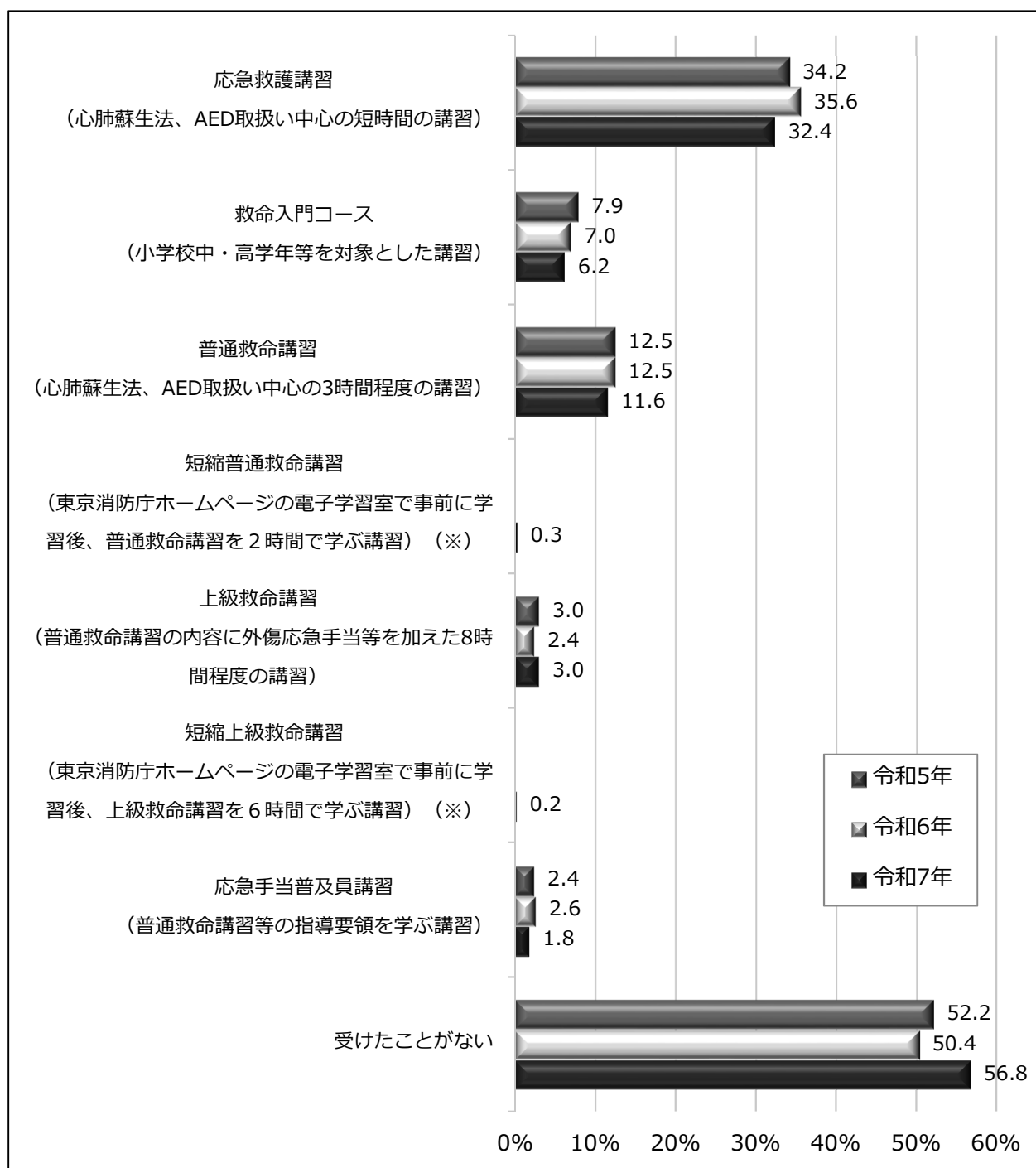
※「東京版救急受診ガイド」はインターネットや冊子により自身で症状の緊急性や受診科目などを確認できるものです。

■ 応急手当について

Q 9 都民の方を対象に様々な応急手当を学ぶ救命講習が行われています。あなたが受けたことのある講習を次の中からいくつでも選んでください。(複数回答可)

	令和5年 (n=1,346)	令和6年 (n=1,645)	令和7年 (n=1,683)
応急救護講習（心肺蘇生法、AED取扱い中心の短時間の講習）	34.2	35.6	32.4
救命入門コース（小・中学校・高学年等を対象とした講習）	7.9	7.0	6.2
普通救命講習（心肺蘇生法、A E D取扱い中心の3時間程度の講習）	12.5	12.5	11.6
短縮普通救命講習（東京消防庁ホームページの電子学習室で事前に学習後、普通救命講習を2時間で学ぶ講習）（※）	-	-	0.3
上級救命講習（普通救命講習の内容に外傷応急手当等を加えた8時間程度の講習）	3.0	2.4	3.0
短縮上級救命講習（東京消防庁ホームページの電子学習室で事前に学習後、上級救命講習を6時間で学ぶ講習）（※）	-	-	0.2
応急手当普及員講習（普通救命講習等の指導要領を学ぶ講習）	2.4	2.6	1.8
受けたことがない	52.2	50.4	56.8

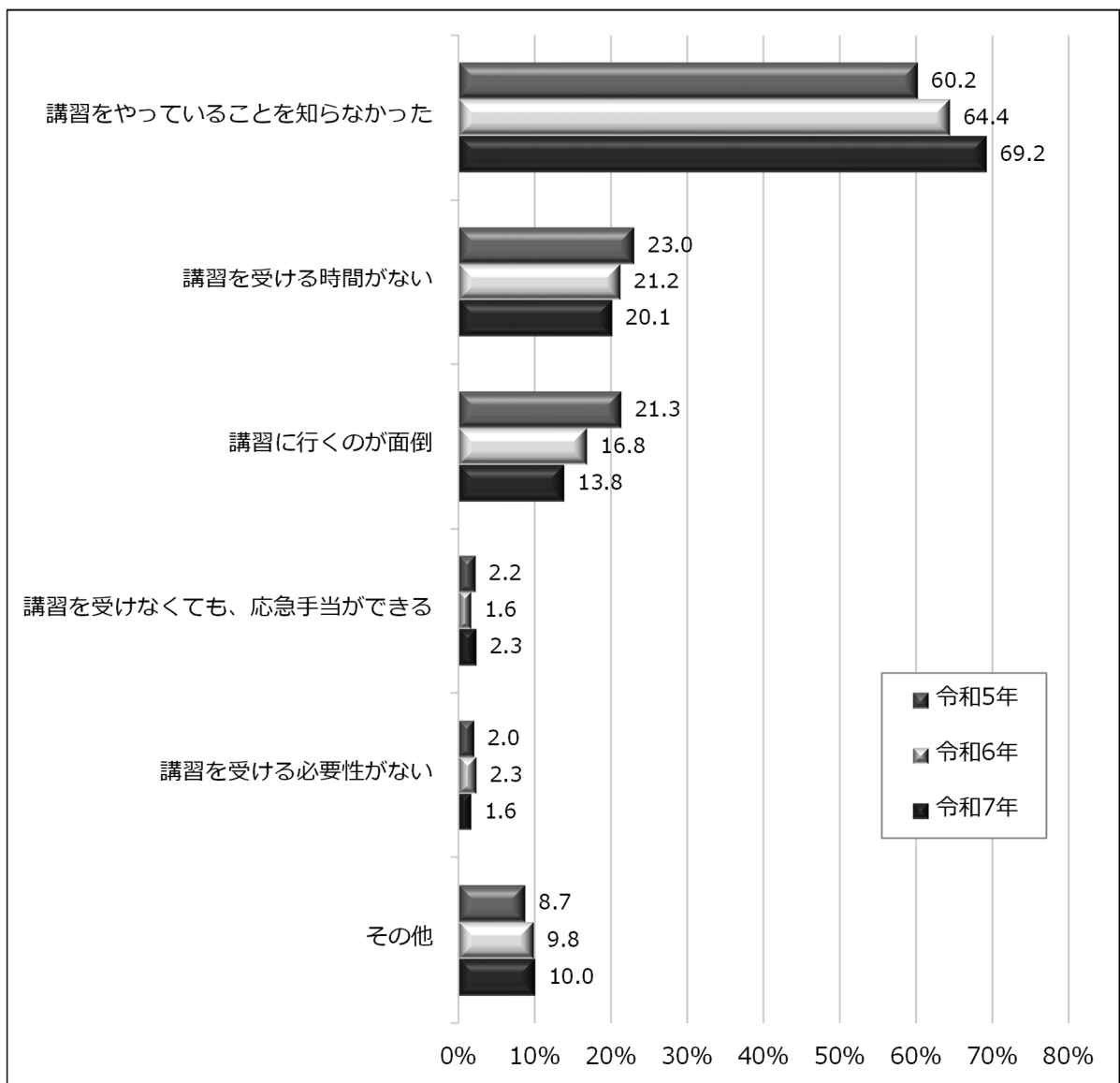
（※）令和7年に追加した選択肢



(※) 令和7年に追加した選択肢

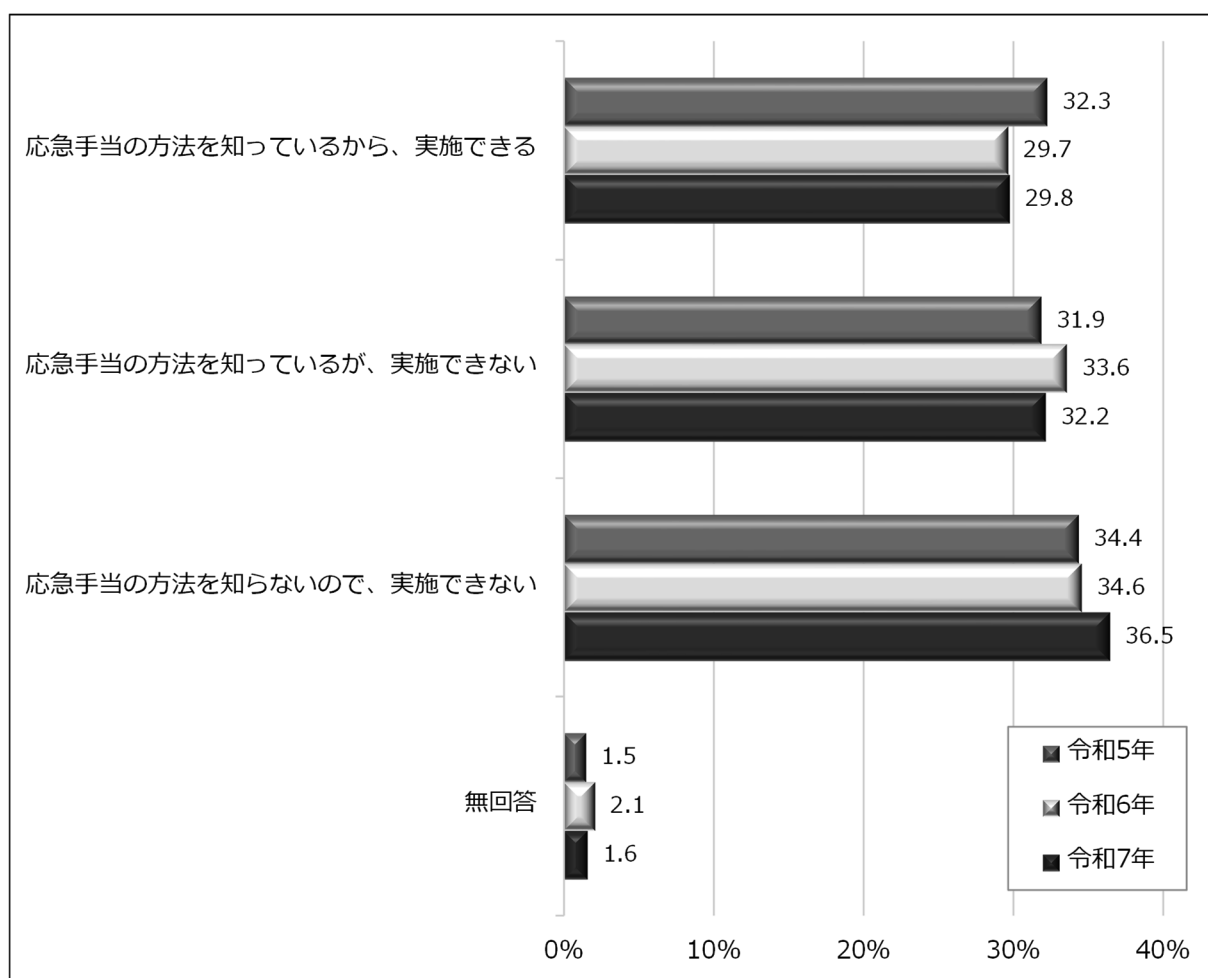
Q10 Q 9で「受けたことがない」を選んだ方にお聞きします。救命講習を受けていない理由を次の中からいくつでも選んでください。(複数回答可)

	令和5年 (n=691)	令和6年 (n=829)	令和7年 (n=946)
講習をやっていることを知らなかった	60.2	64.4	69.2
講習を受ける時間がない	23.0	21.2	20.1
講習に行くのが面倒	21.3	16.8	13.8
講習を受けなくても、応急手当ができる	2.2	1.6	2.3
講習を受ける必要性がない	2.0	2.3	1.6
その他	8.7	9.8	10.0



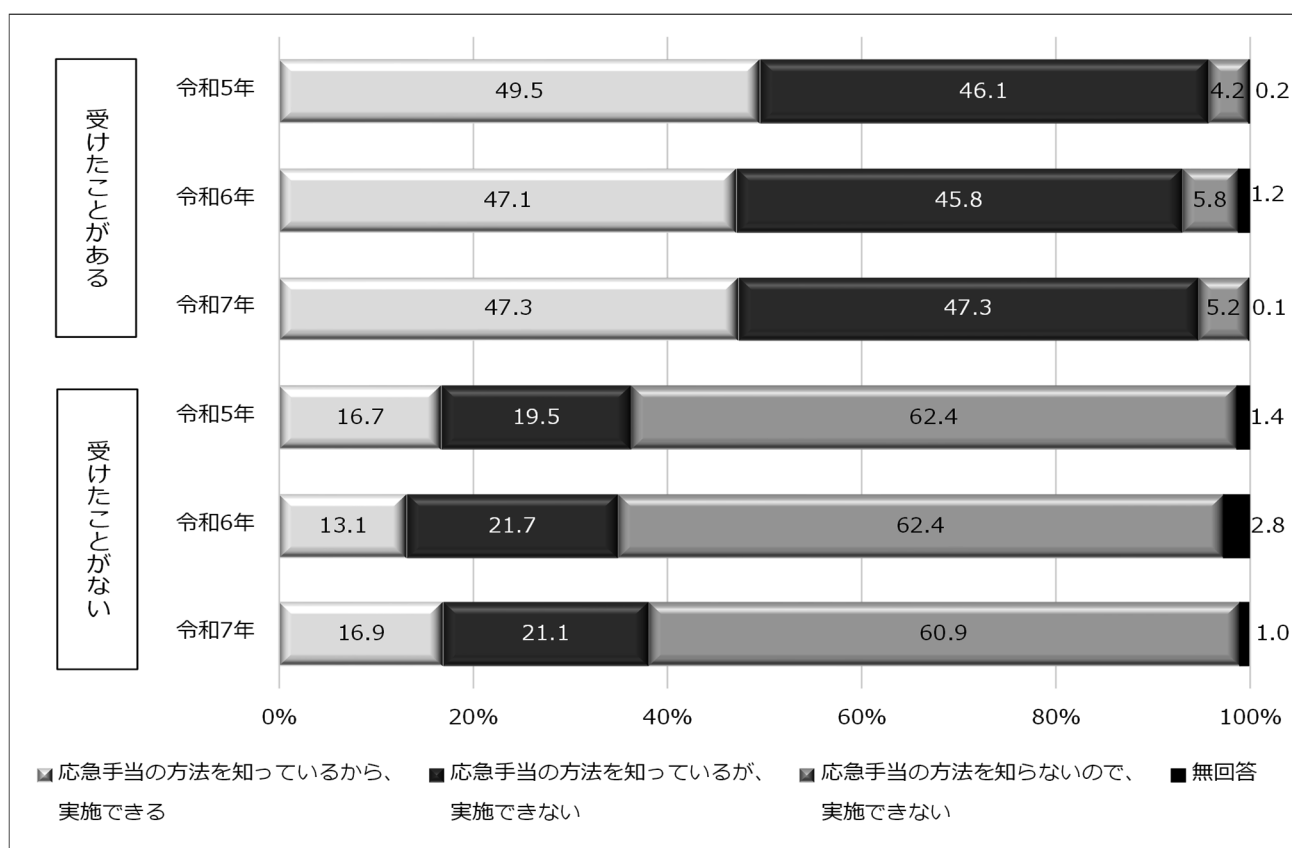
Q11 あなたの周りの人が急病やけがで心肺停止となり、応急手当が必要となった時、あなたは胸骨圧迫（心臓マッサージ）、人工呼吸、A E D（自動体外式除細動器）のいずれかができますか。次の中から1つだけ選んでください。

	令和5年 (n=1,356)	令和6年 (n=1,645)	令和7年 (n=1,700)
応急手当の方法を知っているから、実施できる	32.3	29.7	29.8
応急手当の方法を知っているが、実施できない	31.9	33.6	32.2
応急手当の方法を知らないので、実施できない	34.4	34.6	36.5
無回答	1.5	2.1	1.6



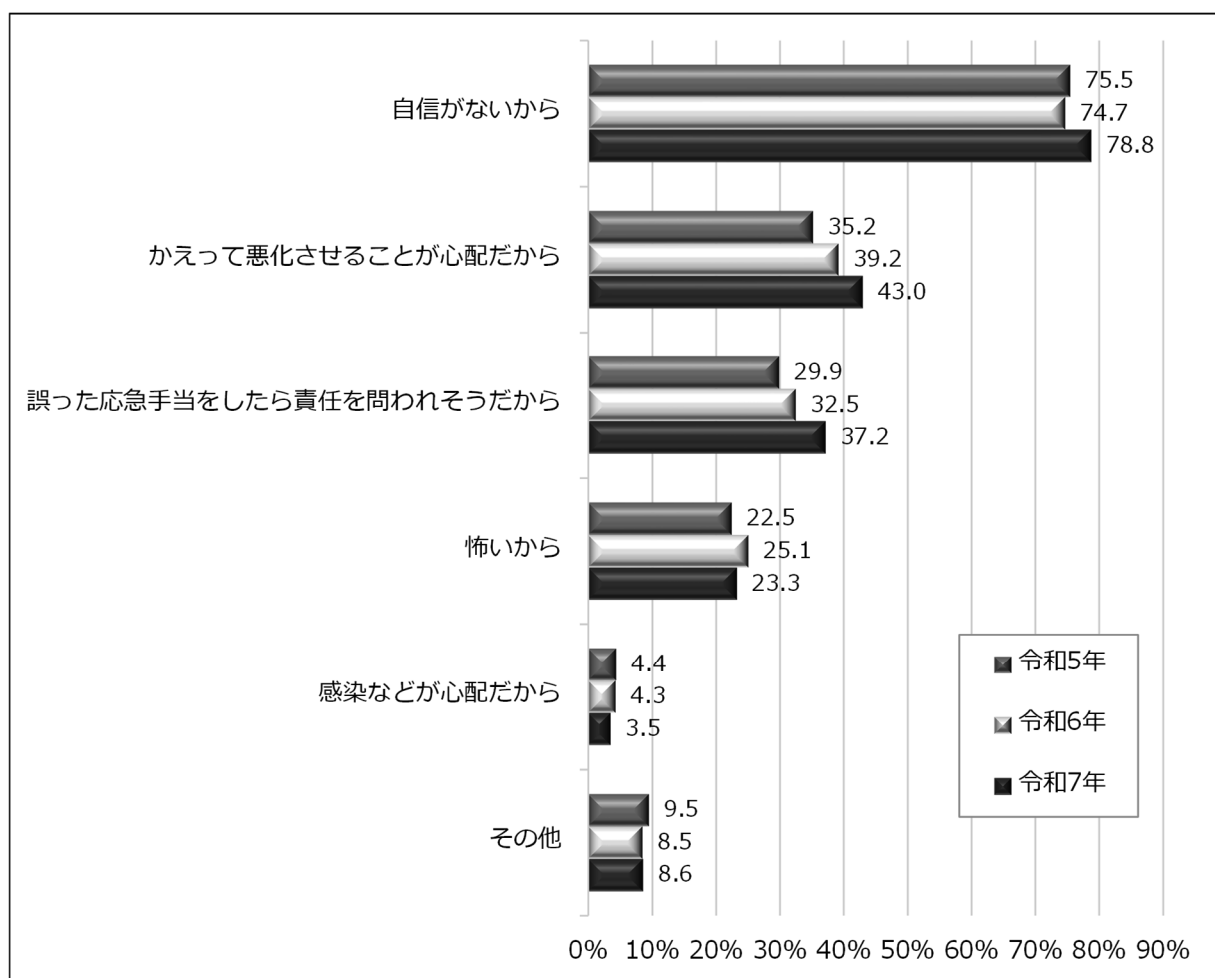
【参考：応急手当講習の受講有無（Q9）毎の集計】

	受けたことがある			受けたことがない		
	令和5年 (n=636) ※無回答 1件	令和6年 (n=805) ※無回答 10件	令和7年 (n=727) ※無回答 1件	令和5年 (n=702) ※無回答 10件	令和6年 (n=829) ※無回答 23件	令和7年 (n=956) ※無回答 10件
応急手当の方法を知っているから、実施できる	49.5	47.1	47.3	16.7	13.1	16.9
応急手当の方法を知っているが、実施できない	46.1	45.8	47.3	19.5	21.7	21.1
応急手当の方法を知らないので、実施できない	4.2	5.8	5.2	62.4	62.4	60.9
無回答	0.2	1.2	0.1	1.4	2.8	1.0



Q12 Q11で「応急手当の方法を知っているが、実施できない」を選んだ方にお聞きます。
あなたが、応急手当を出来ない理由は何ですか。次の中からいくつでも選んでください。
(複数回答可)

	令和5年 (n=432)	令和6年 (n=553)	令和7年 (n=546)
自信がないから	75.5	74.7	78.8
かえって悪化させることが心配だから	35.2	39.2	43.0
誤った応急手当をしたら責任を問われそうだから	29.9	32.5	37.2
怖いから	22.5	25.1	23.3
感染などが心配だから	4.4	4.3	3.5
その他	9.5	8.5	8.6



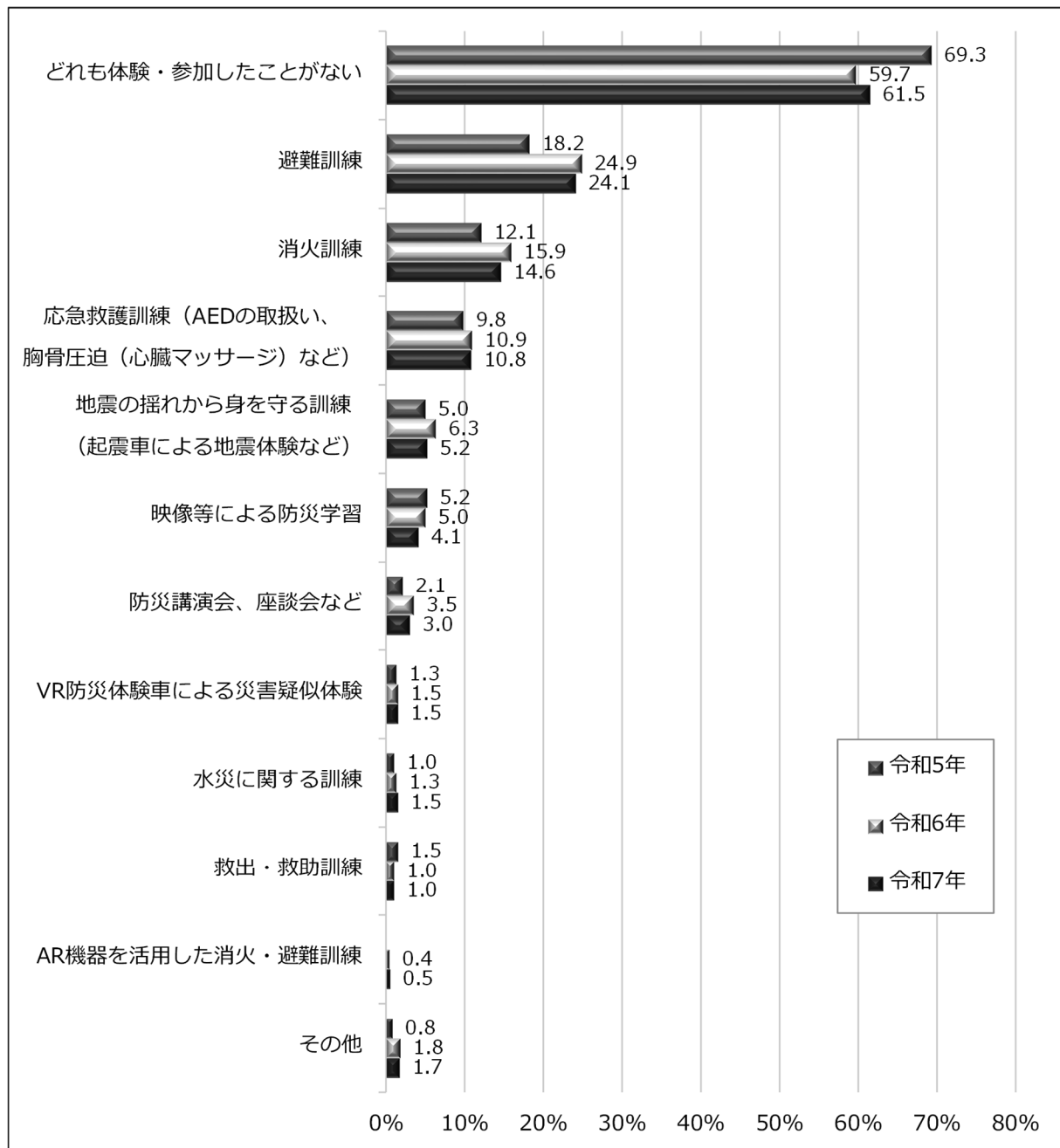
(4) 防災に関すること

■ 防火防災訓練などについて

Q13 あなたが最近 1 年間で参加したことのあるお住まいの地域や職場、学校などでの防火防災訓練や自衛消防訓練、東京消防庁主催のイベントなどがありますか。次の中からいくつでも選んでください。(複数回答可)

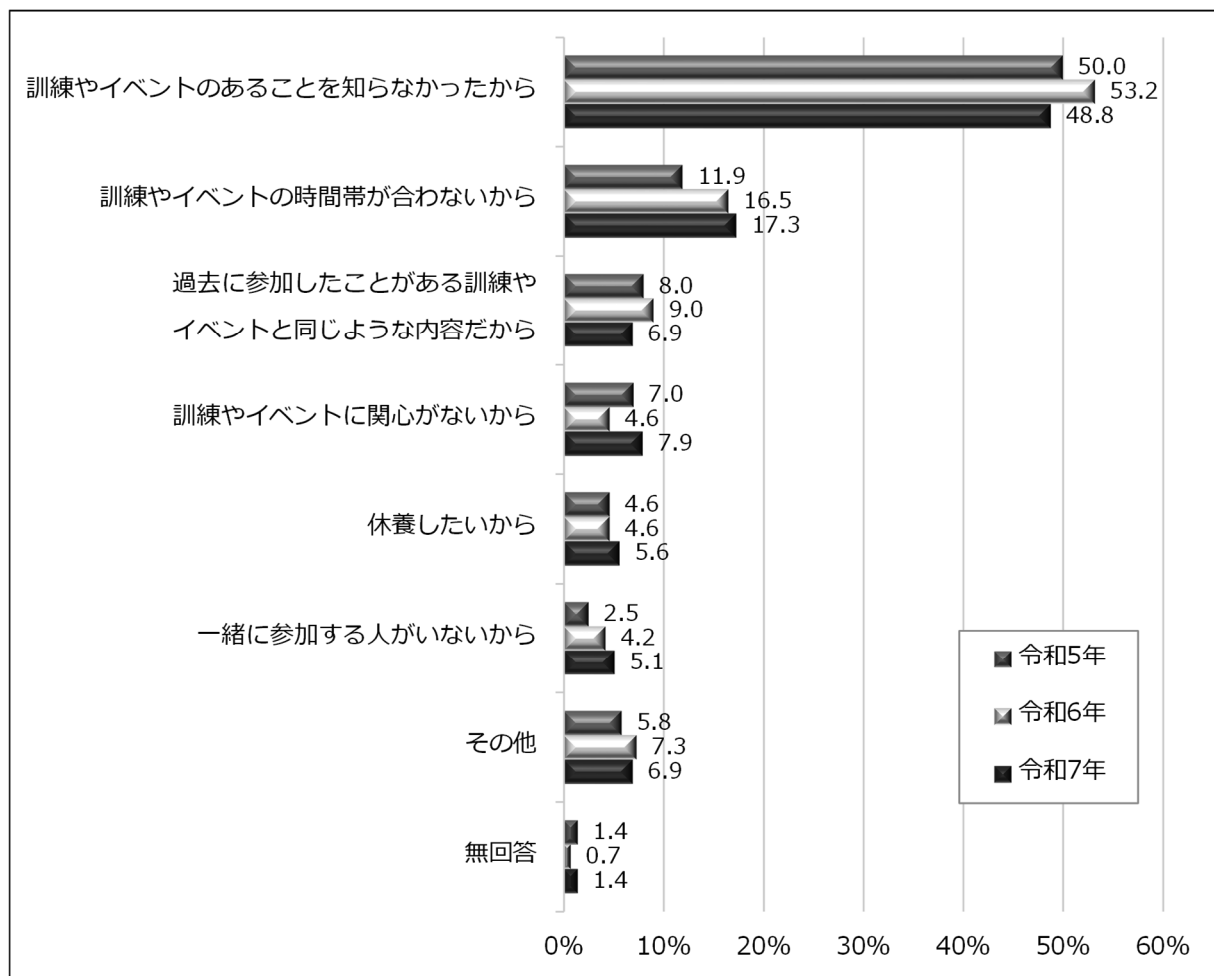
※ 令和 5 年の設問は「あなたが最近 1 年間で参加したことのある防火防災訓練や東京都消防庁主催のイベントなどがありますか。次の中からいくつでも選んでください。(複数回答可)」

	令和5年 (n=1,344)	令和6年 (n=1,645)	令和7年 (n=1,679)
どれも体験・参加したことがない	69.3	59.7	61.5
避難訓練	18.2	24.9	24.1
消火訓練	12.1	15.9	14.6
応急救護訓練 (AEDの取扱い、胸骨圧迫(心臓マッサージ)など)	9.8	10.9	10.8
地震の揺れから身を守る訓練 (起震車による地震体験など)	5.0	6.3	5.2
映像等による防災学習	5.2	5.0	4.1
防災講演会、座談会など	2.1	3.5	3.0
VR防災体験車による災害疑似体験	1.3	1.5	1.5
水災に関する訓練	1.0	1.3	1.5
救出・救助訓練	1.5	1.0	1.0
AR機器を活用した消火・避難訓練	-	0.4	0.5
その他	0.8	1.8	1.7



Q14 Q13で「どれも体験・参加したことがない」を選んだ方にお聞きします。参加したことがない最も大きな理由を、次の中から1つだけ選んでください。

	令和5年 (n=932)	令和6年 (n=982)	令和7年 (n=1,022)
訓練やイベントのあることを知らなかったから	50.0	53.2	48.8
訓練やイベントの時間帯が合わないから	11.9	16.5	17.3
過去に参加したことがある訓練やイベントと同じような内容だから	8.0	9.0	6.9
訓練やイベントに関心がないから	7.0	4.6	7.9
休養したいから	4.6	4.6	5.6
一緒に参加する人がいないから	2.5	4.2	5.1
その他	5.8	7.3	6.9
無回答	1.4	0.7	1.4



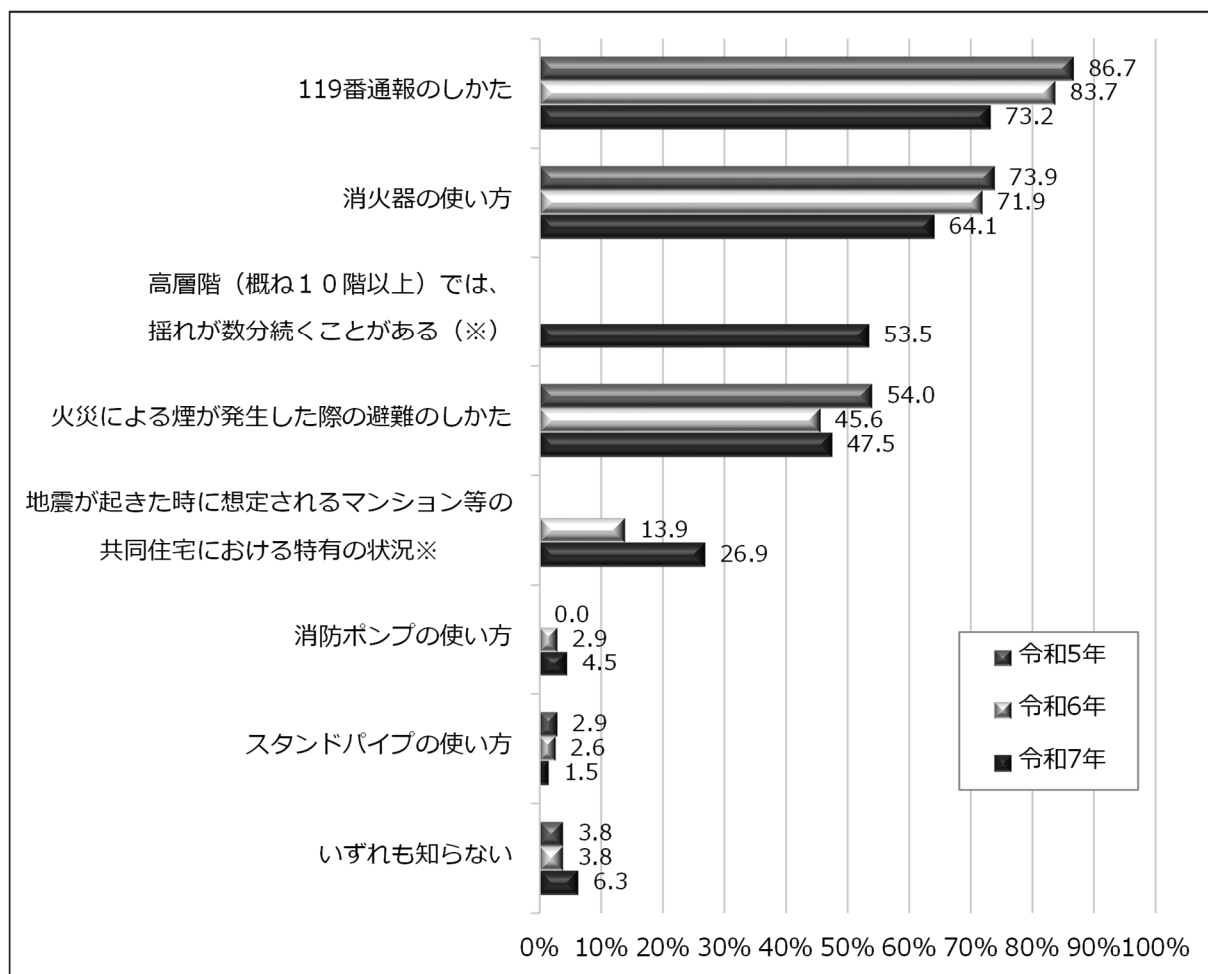
Q15 あなたが知っているものを次の中からいくつか選んでください。（複数回答可）

	令和5年 (n=1,332)	令和6年 (n=1,645)	令和7年 (n=1,687)
119番通報のしかた	86.7	83.7	73.2
消火器の使い方	73.9	71.9	64.1
高層階（概ね10階以上）では、 揺れが数分続くことがある（※）	-	-	53.5
火災による煙が発生した際の避難のしかた	54.0	45.6	47.5
地震が起きた時に想定されるマンション等の 共同住宅における特有の状況※	-	13.9	26.9
消防ポンプの使い方	-	2.9	4.5
スタンドパイプの使い方	2.9	2.6	1.5
いずれも知らない	3.8	3.8	6.3

（※）令和7年に追加した選択肢

※ 地震が起きた時に想定されるマンション等の共同住宅における特有の状況とは

- ・ 停電や大きな揺れによりエレベーターが停止した場合は、けが人を地上まで運ぶのが困難になる。
- ・ 消火設備や警報設備が動かないことがあり、火災の発見が遅れたり、消火や避難が困難になったりする。



【参考：訓練参加有無（Q13）毎の集計】

	消火訓練参加者			防火防災訓練未参加者		
	令和5年 (n=163)	令和6年 (n=257)	令和7年 (n=244)	令和5年 (n=920)	令和6年 (n=970)	令和7年 (n=1,027)
「消火器の使い方」 知っている	96.9	97.7	91.4	69.2	65.5	56.8

	避難訓練参加者			防火防災訓練未参加者		
	令和5年 (n=244)	令和6年 (n=406)	令和7年 (n=403)	令和5年 (n=920)	令和6年 (n=970)	令和7年 (n=1,027)
「避難のしかた」 知っている	70.1	53.2	56.1	49.8	42.8	43.6

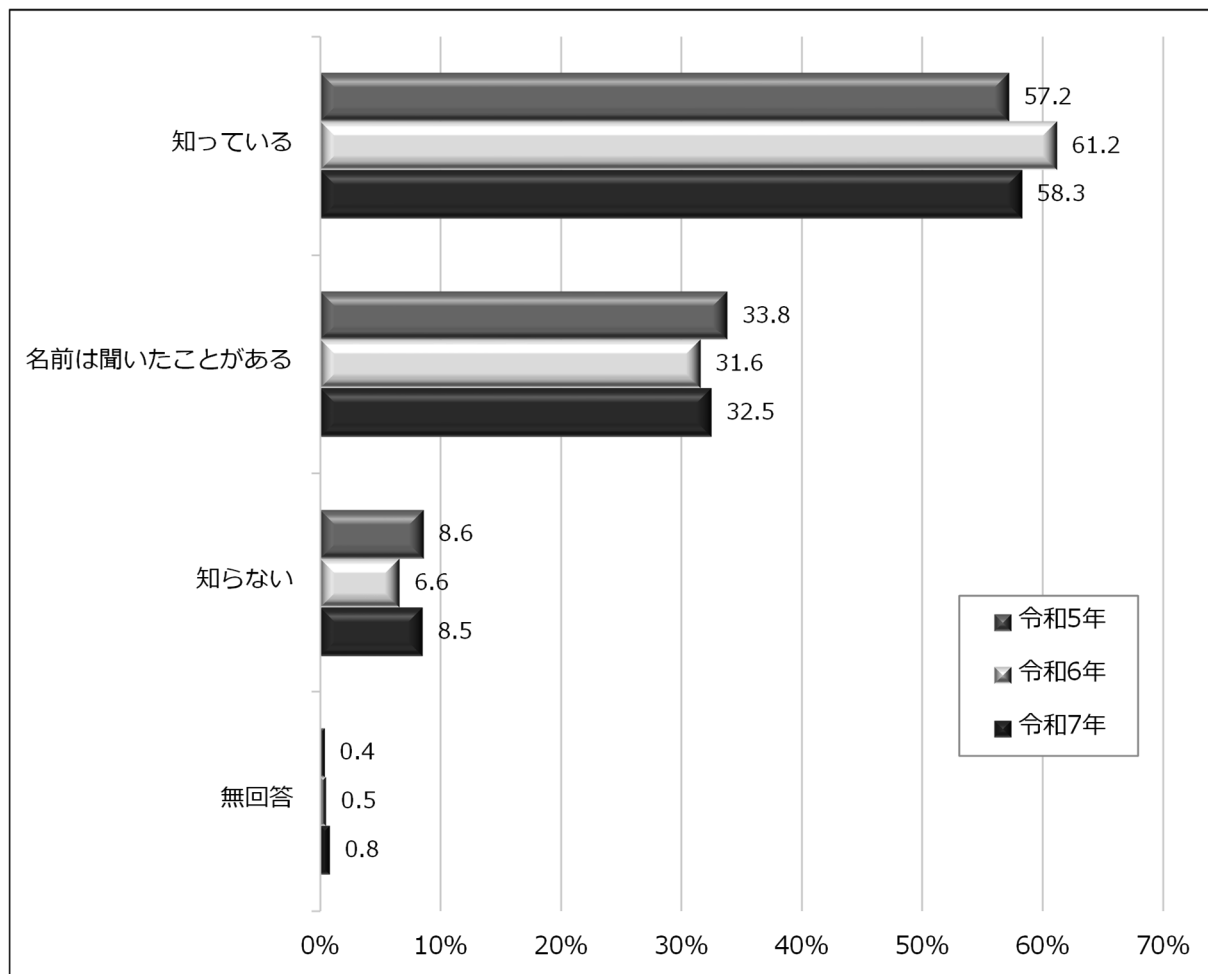
(5) 消防団に関すること

■消防団について

Q16 消防団を知っていますか。次の中から1つだけ選んでください。

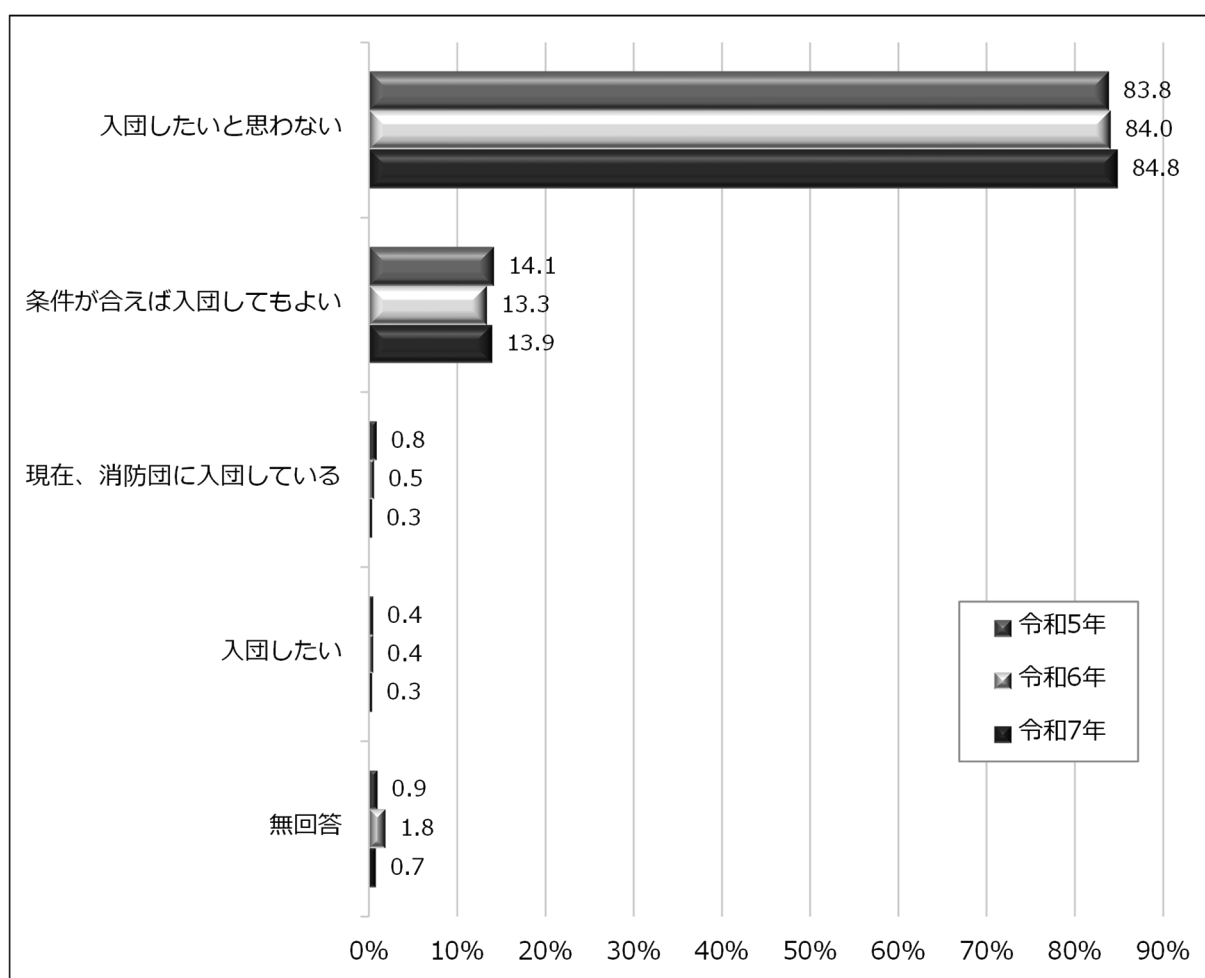
- ※ 消防団は様々な仕事につきながら「わが街を守る」という使命感のもと、自営業や会社員、主婦や学生などで組織されている消防機関です。
火災が起きた際には自宅や職場から現場に駆けつけて消火活動を行うほか、町会などで行われる初期消火訓練や避難訓練などの指導を行います。

	令和5年 (n=1,356)	令和6年 (n=1,645)	令和7年 (n=1,700)
知っている	57.2	61.2	58.3
名前は聞いたことがある	33.8	31.6	32.5
知らない	8.6	6.6	8.5
無回答	0.4	0.5	0.8



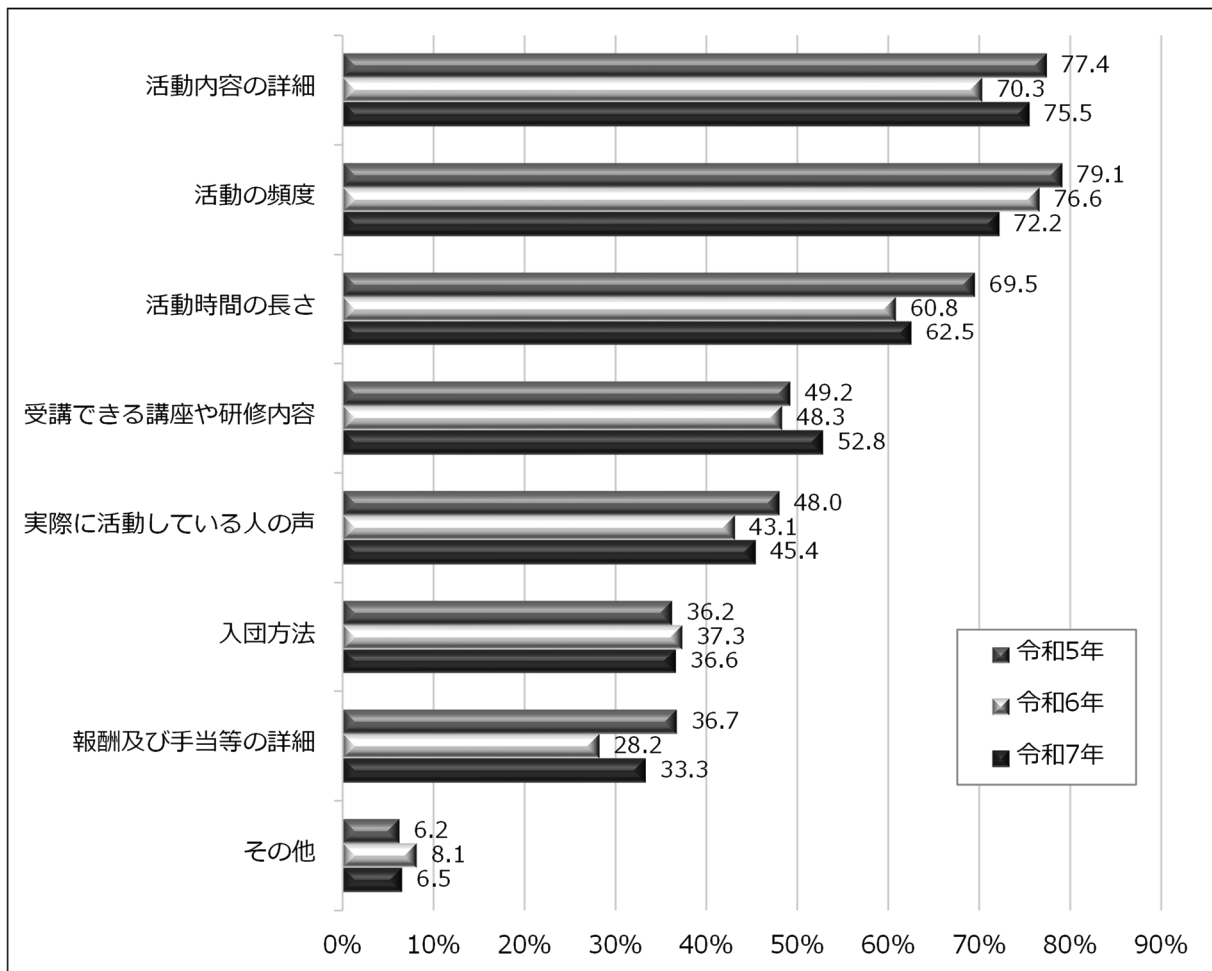
Q17 Q16で「知っている」又は「名前は聞いたことがある」を選んだ方にお聞きます。地域の安全・安心を守るため、あなたは消防団に入団したいと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

	令和5年 (n=1,235)	令和6年 (n=1,527)	令和7年 (n=1,543)
入団したいと思わない	83.8	84.0	84.8
条件が合えば入団してもよい	14.1	13.3	13.9
現在、消防団に入団している	0.8	0.5	0.3
入団したい	0.4	0.4	0.3
無回答	0.9	1.8	0.7



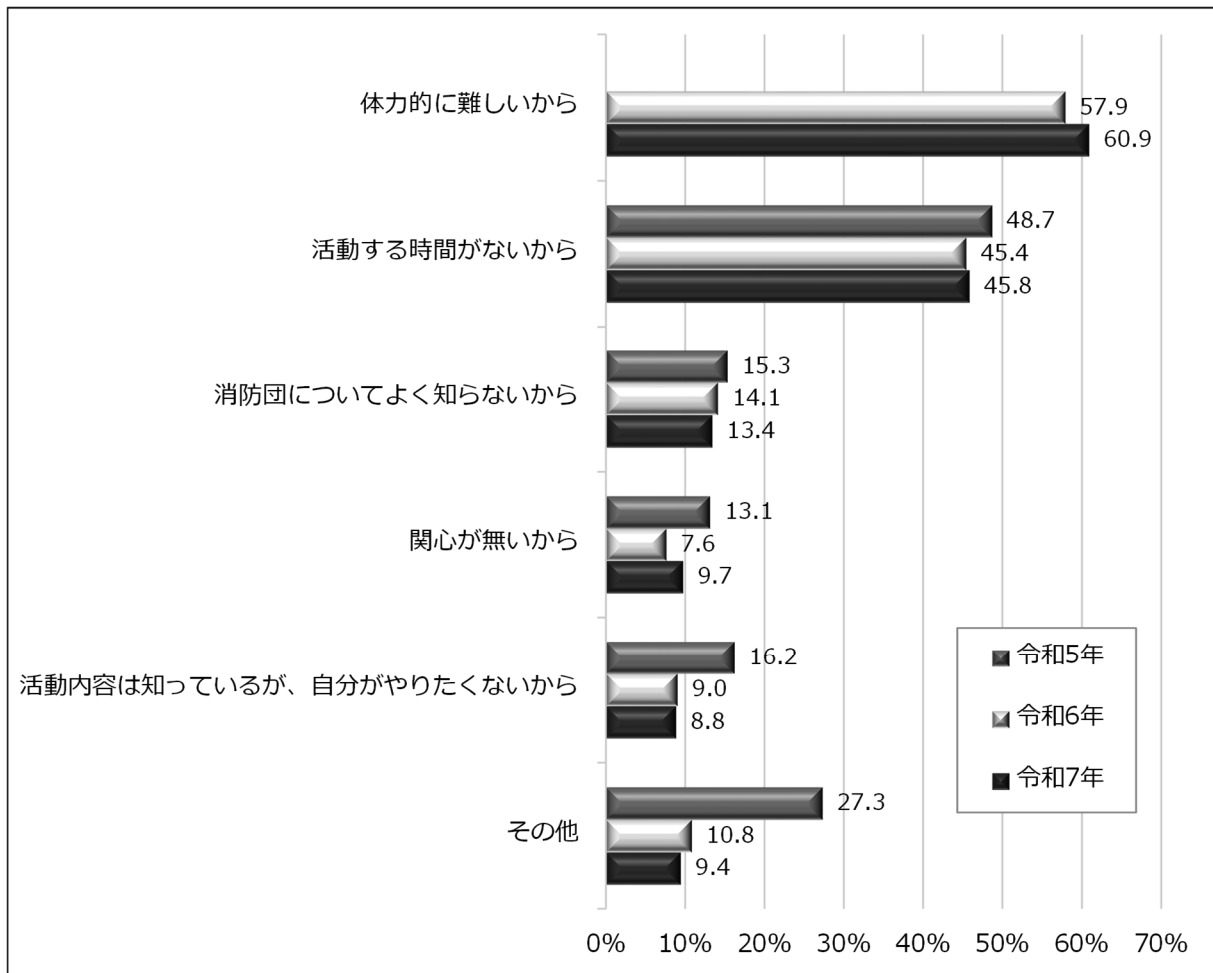
Q18 Q17 で「入団したい」又は「条件が合えば入団してもよい」を選んだ方にお聞きします。あなたが入団を検討するとしたら、消防団について必要な情報は何か。次の中からいくつでも選んでください。(複数回答可)

	令和5年 (n=177)	令和6年 (n=209)	令和7年 (n=216)
活動内容の詳細	77.4	70.3	75.5
活動の頻度	79.1	76.6	72.2
活動時間の長さ	69.5	60.8	62.5
受講できる講座や研修内容	49.2	48.3	52.8
実際に活動している人の声	48.0	43.1	45.4
入団方法	36.2	37.3	36.6
報酬及び手当等の詳細	36.7	28.2	33.3
その他	6.2	8.1	6.5



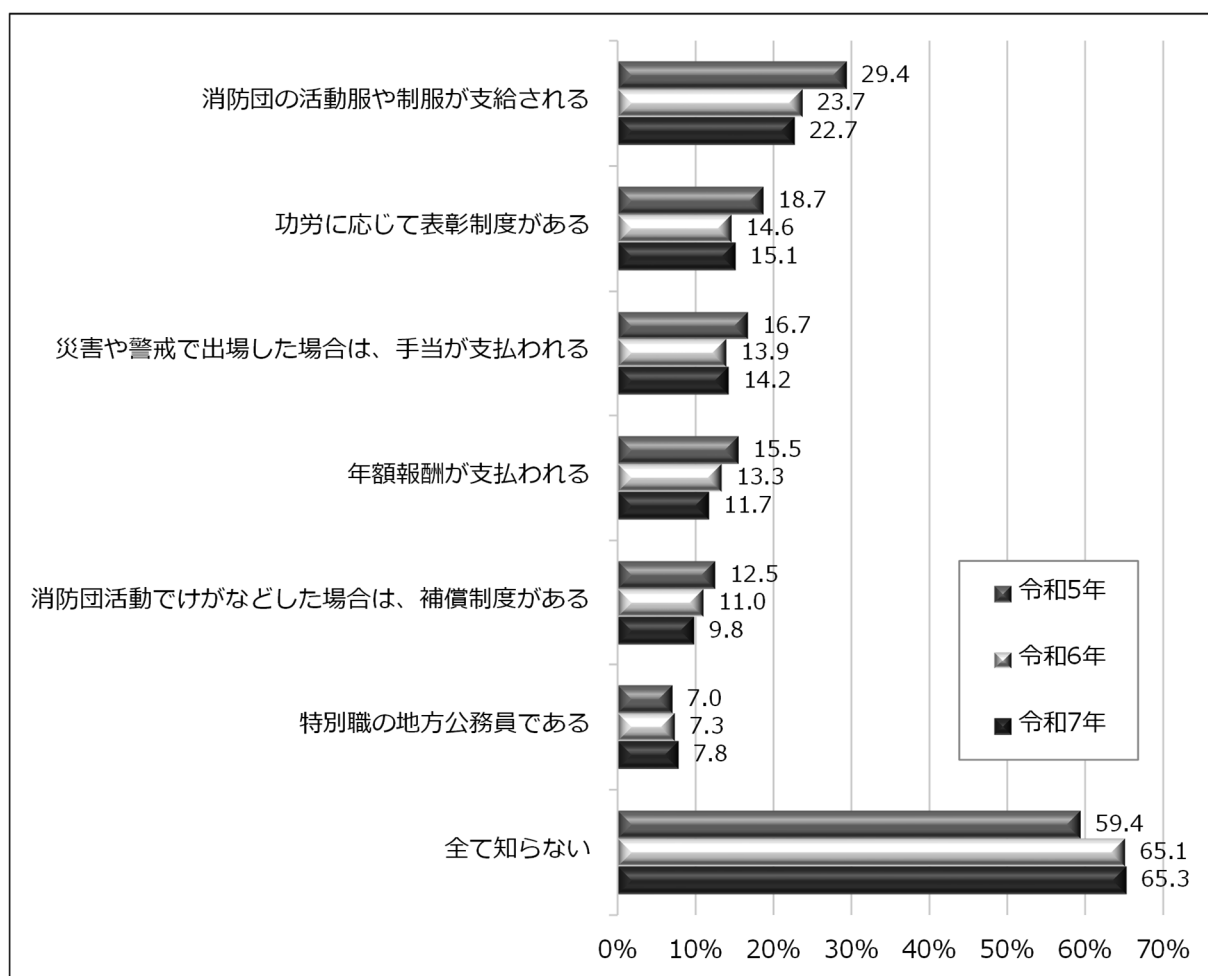
Q19 Q17で「入団したいと思わない」を選んだ方にお聞きます。消防団に入団したいと思わない理由を次の中からいくつでも選んでください。（複数回答可）

	令和5年 (n=1,029)	令和6年 (n=1,282)	令和7年 (n=1,302)
体力的に難しいから	-	57.9	60.9
活動する時間がないから	48.7	45.4	45.8
消防団についてよく知らないから	15.3	14.1	13.4
関心が無いから	13.1	7.6	9.7
活動内容は知っているが、自分がやりたくないから	16.2	9.0	8.8
その他	27.3	10.8	9.4



Q20 次の内容は、消防団の待遇についてです。あなたが知っていることを、次の中からいくつかでも選んでください。(複数回答可)

	令和5年 (n=1,214)	令和6年 (n=1,491)	令和7年 (n=1,514)
消防団の活動服や制服が支給される	29.4	23.7	22.7
功労に応じて表彰制度がある	18.7	14.6	15.1
災害や警戒で出場した場合は、手当が支払われる	16.7	13.9	14.2
年額報酬が支払われる	15.5	13.3	11.7
消防団活動でけがなどした場合は、補償制度がある	12.5	11.0	9.8
特別職の地方公務員である	7.0	7.3	7.8
全て知らない	59.4	65.1	65.3

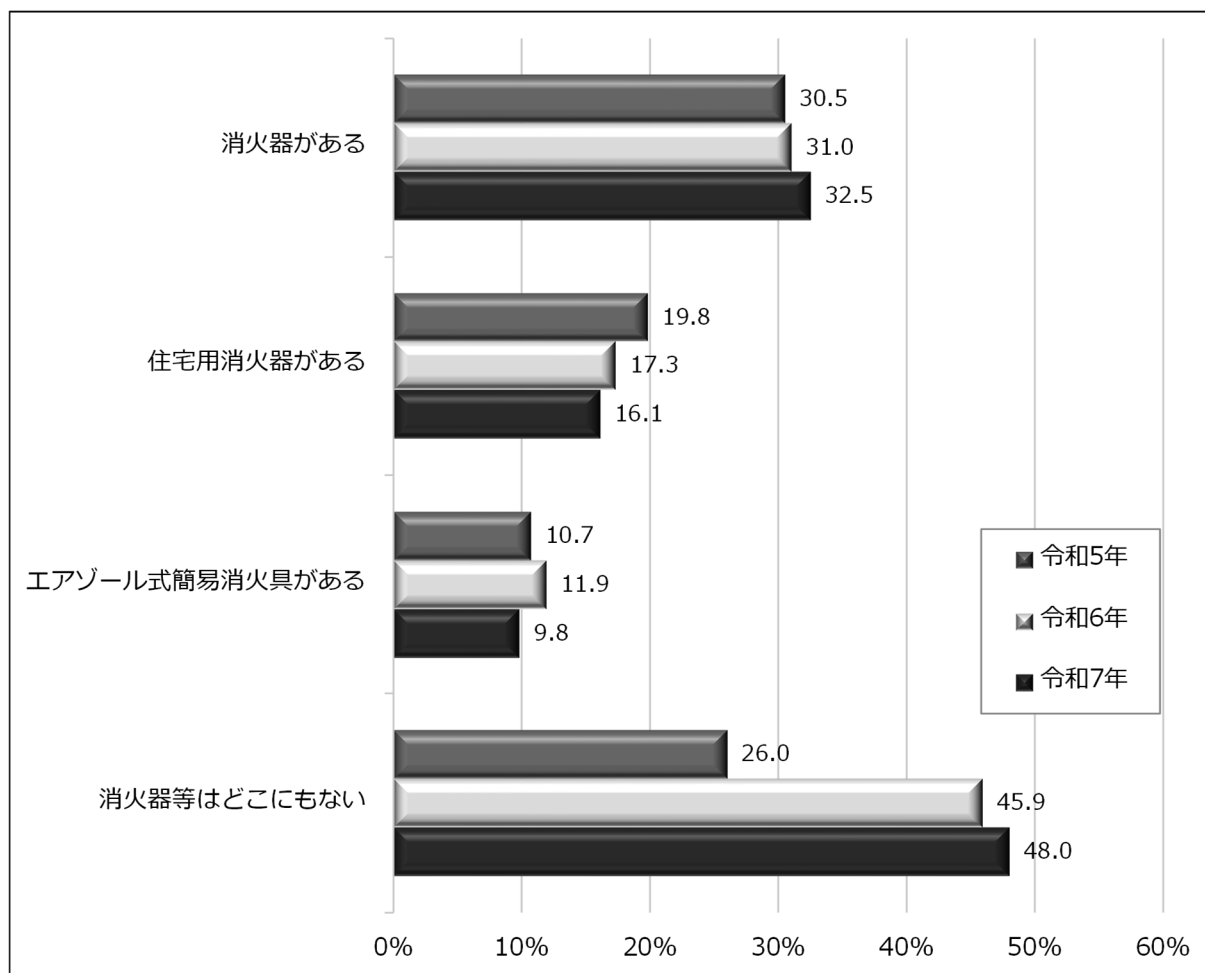


(6) 火災予防に関すること

■ 消火器等について

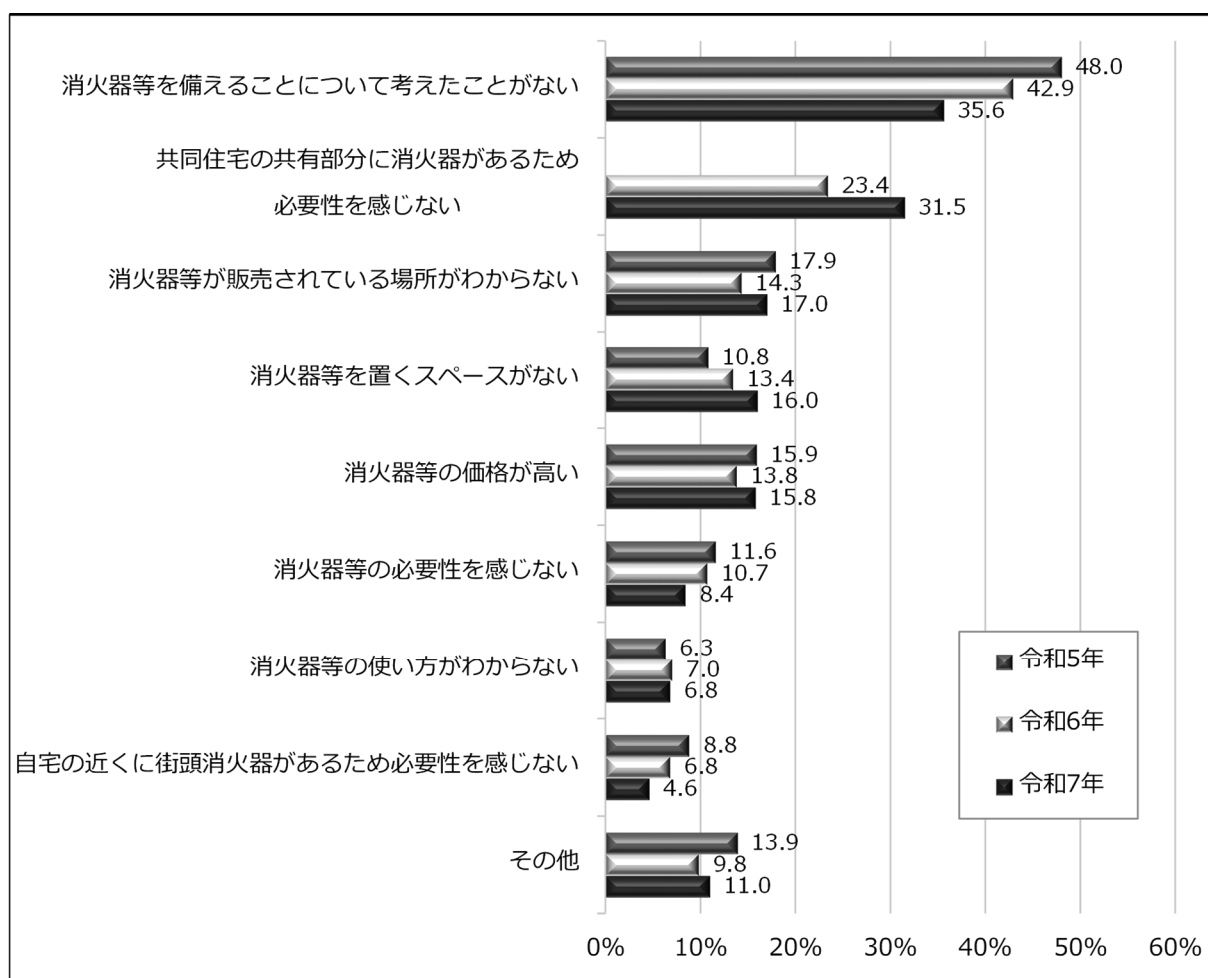
- Q21** あなたのご自宅内に消火器等はありますか。次の中からいくつでも選んでください。
 （複数回答可）※マンションやアパート等の共有部分（廊下等）にある消火器は含みません。
 ※令和5年の設問は「あなたのお住まいに消火器等はありますか。次の中からいくつでも選んでください。（複数回答可）」

	令和5年 (n=1,353)	令和6年 (n=1,645)	令和7年 (n=1,682)
消火器がある	30.5	31.0	32.5
住宅用消火器がある	19.8	17.3	16.1
エアゾール式簡易消火具がある	10.7	11.9	9.8
消火器等はどこにもない	26.0	45.9	48.0



Q22 Q21で「消火器等はどこにもない」を選んだ方にお聞きします。消火器等がない理由を次の中からいくつでも選んでください。（複数回答可）

	令和5年 (n=352)	令和6年 (n=755)	令和7年 (n=806)
消火器等を備えることについて考えたことがない	48.0	42.9	35.6
共同住宅の共有部分に消火器があるため必要性を感じない	-	23.4	31.5
消火器等が販売されている場所がわからない	17.9	14.3	17.0
消火器等を置くスペースがない	10.8	13.4	16.0
消火器等の価格が高い	15.9	13.8	15.8
消火等の必要性を感じない	11.6	10.7	8.4
消火等の使い方がわからない	6.3	7.0	6.8
自宅の近くに街頭消火器があるため必要性を感じない	8.8	6.8	4.6
その他	13.9	9.8	11.0



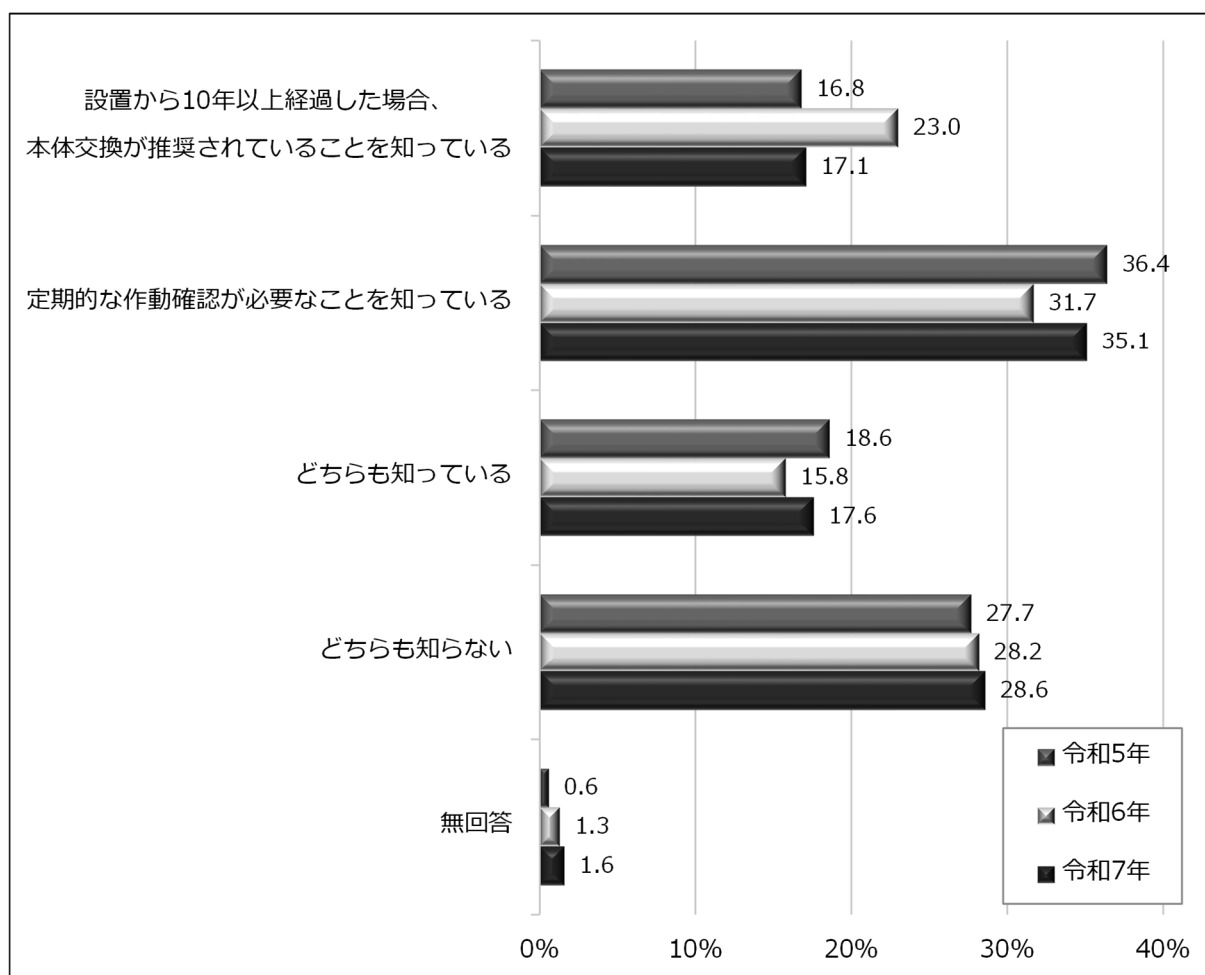
■ 住宅用火災警報器について

Q23 住宅用火災警報器の本体交換や定期的に作動確認※をすることについて知っていますか。当てはまるものを1つだけ選んでください。

※作動確認とは、住宅用火災警報器の本体に付いているボタンを押すことや、ひもを引くことによって住宅用火災警報器が正常に作動しているかを確認することです。

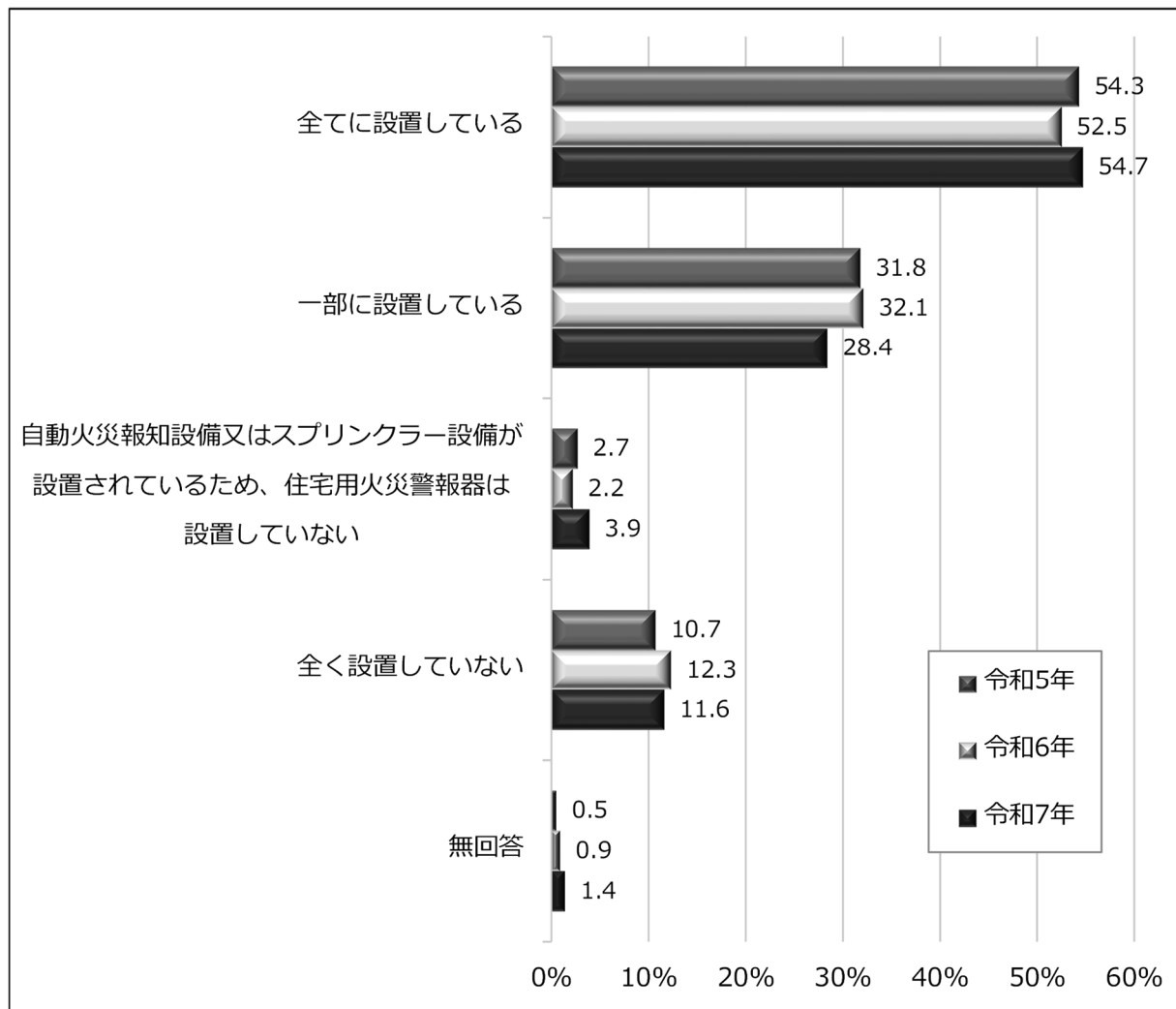
正常な場合は、正常を知らせる音声や警報音が鳴り、音声等は自動で停止します。

	令和5年 (n=1,356)	令和6年 (n=1,645)	令和7年 (n=1,700)
設置から10年以上経過した場合、本体交換が推奨されていることを知っている	16.8	23.0	17.1
定期的な作動確認が必要なことを知っている	36.4	31.7	35.1
どちらも知っている	18.6	15.8	17.6
どちらも知らない	27.7	28.2	28.6
無回答	0.6	1.3	1.6



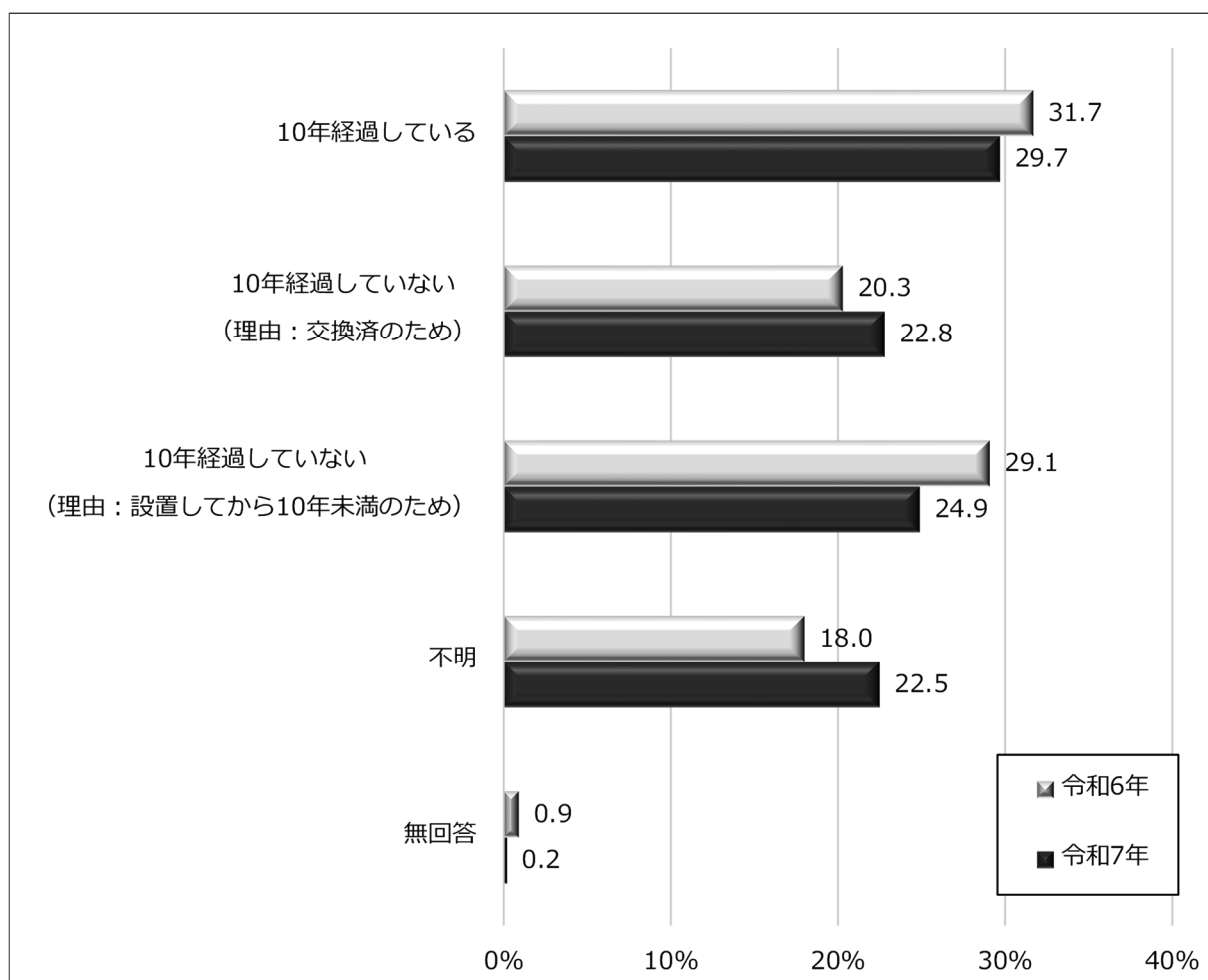
Q24 お住まいの住宅用火災警報器の設置状況を、次の中から1つだけ選んでください。

	令和5年 (n=1,356)	令和6年 (n=1,645)	令和7年 (n=1,700)
全てに設置している	54.3	52.5	54.7
一部に設置している	31.8	32.1	28.4
自動火災報知設備又はスプリンクラー設備が設置されているため、住宅用火災警報器は設置していない	2.7	2.2	3.9
全く設置していない	10.7	12.3	11.6
無回答	0.5	0.9	1.4



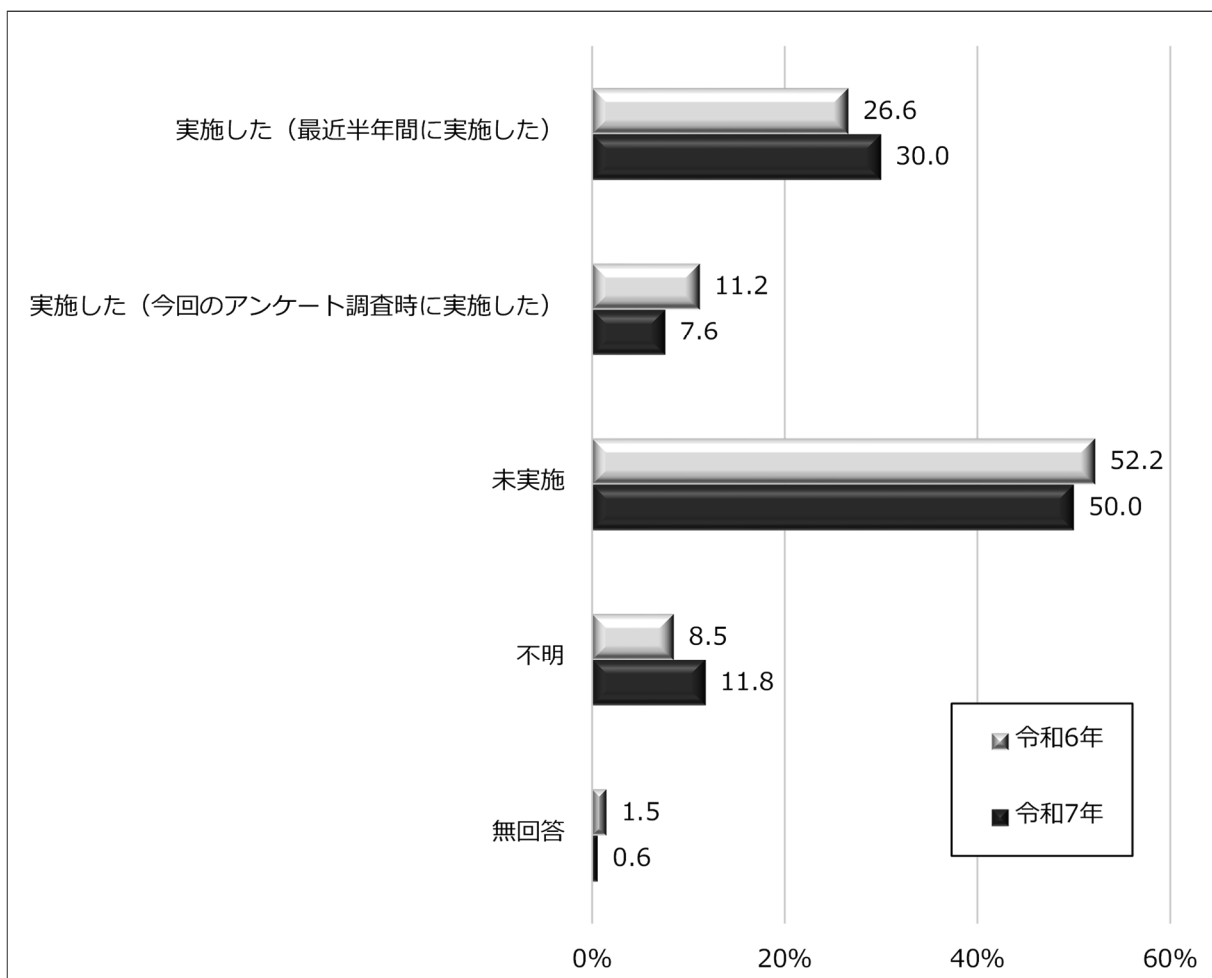
Q25 設置されている住宅用火災警報器の中で一番古いものは、設置してから10年を経過していますか？また、経過していない場合は理由も含めて当てはまるものを1つだけ選んでください。

	令和6年 (n=1,392)	令和7年 (n=1,412)
10年経過している	31.7	29.7
10年経過していない（理由：交換済のため）	20.3	22.8
10年経過していない（理由：設置してから10年未満のため）	29.1	24.9
不明	18.0	22.5
無回答	0.9	0.2



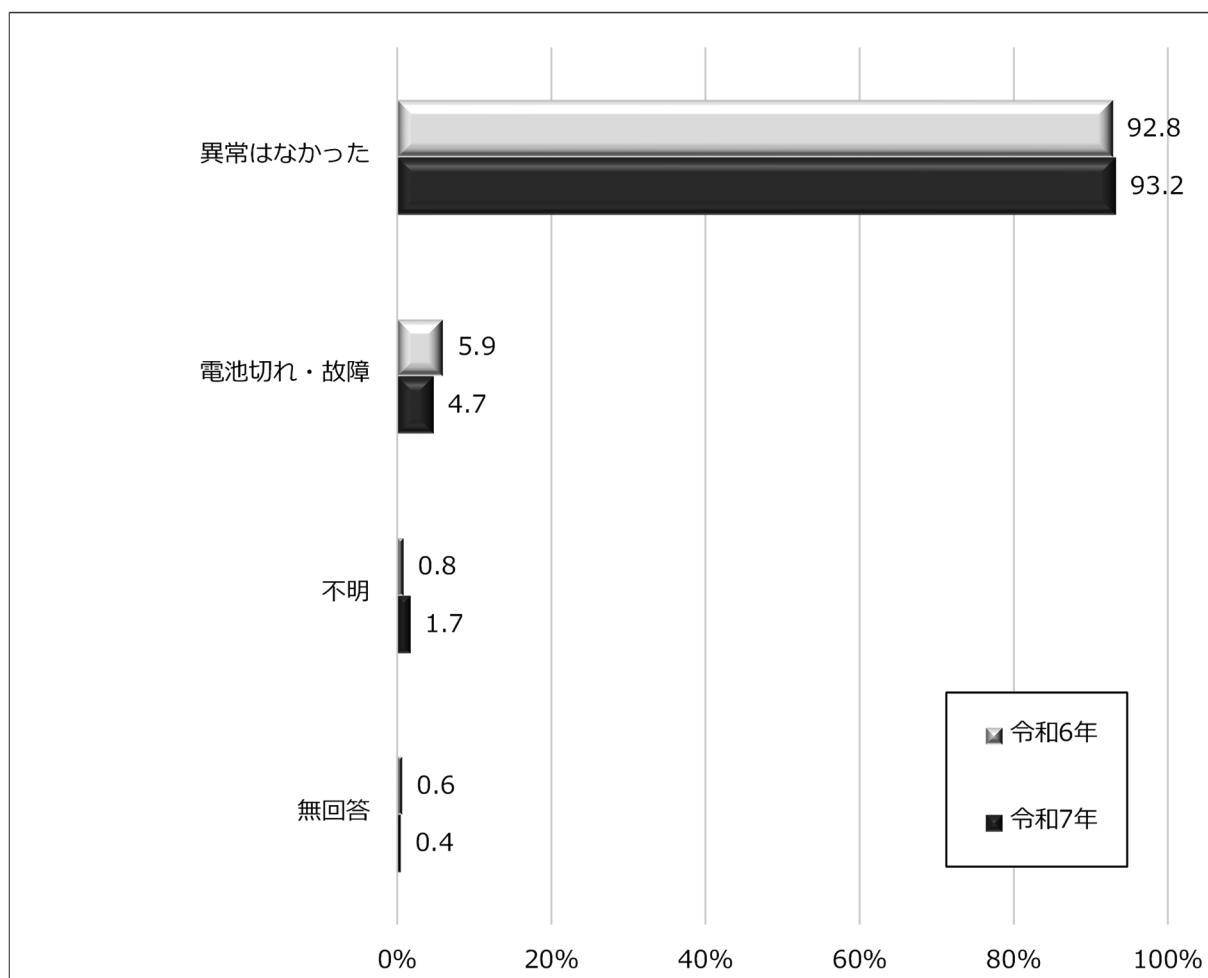
Q26 最近、半年間に住宅用火災警報器の作動確認を行いましたか。次の中から1つだけ選んでください。半年間に作動確認を実施したことが無い方も、可能であれば作動確認を行い、選択肢「実施した」を選んでください。

	令和6年 (n=1,392)	令和7年 (n=1,412)
実施した（最近半年間に実施した）	26.6	30.0
実施した（今回のアンケート調査時に実施した）	11.2	7.6
未実施	52.2	50.0
不明	8.5	11.8
無回答	1.5	0.6



Q27 Q26 で「実施した（最近半年間に実施した）」または「実施した（今回のアンケート調査時に実施した）」を選んだ方にお聞きます。作動確認を実施した結果はどうでしたか。当てはまるものを1つだけ選んでください。
 （設置されている住宅火災警報器に1つでも不良があれば「2 電池切れ・故障」を選択してください。）

	令和6年 (n=526)	令和7年 (n=532)
異常はなかった	92.8	93.2
電池切れ・故障	5.9	4.7
不明	0.8	1.7
無回答	0.6	0.4



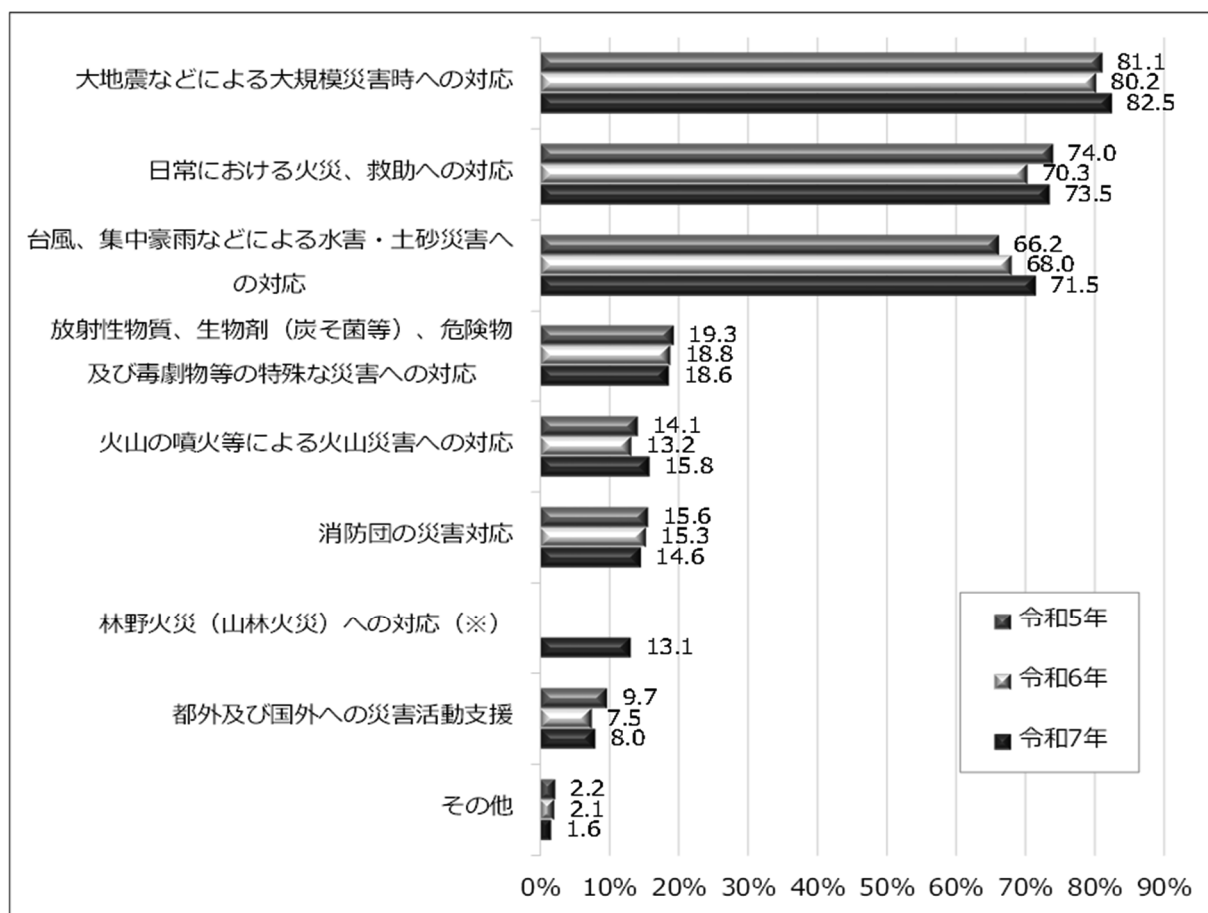
(7) 消防行政に対する要望

Q28 東京消防庁に特に力を入れてほしいと思う取組を、下記AからDの分野について、それぞれいくつかを選んでください。

A 東京消防庁の火災などの災害に関する取組

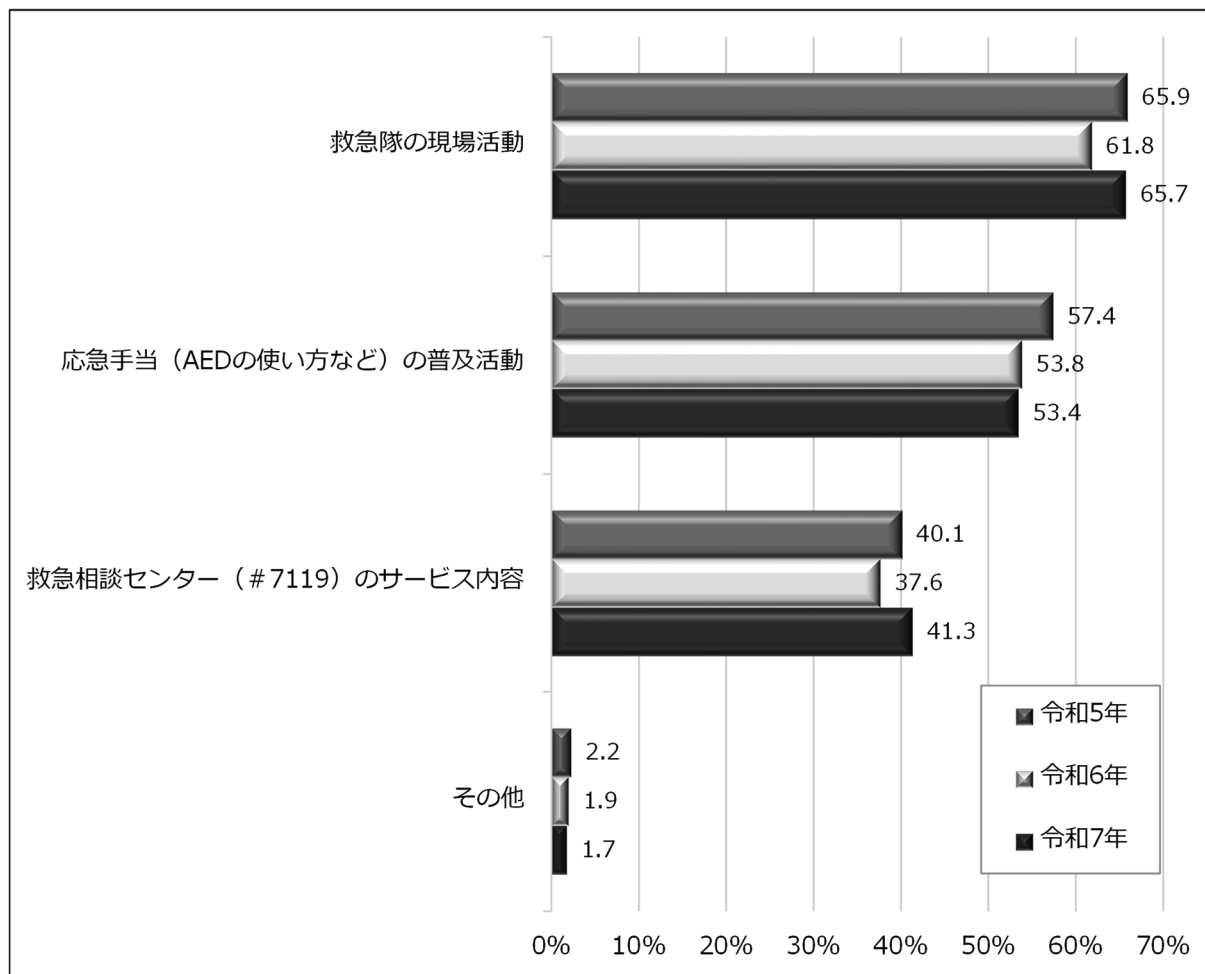
	令和5年 (n=1,324)	令和6年 (n=1,645)	令和7年 (n=1,654)
大地震などによる大規模災害時への対応	81.1	80.2	82.5
日常における火災、救助への対応	74.0	70.3	73.5
台風、集中豪雨などによる水害・土砂災害への対応	66.2	68.0	71.5
放射性物質、生物剤（炭そ菌等）、危険物及び毒劇物等の特殊な災害への対応	19.3	18.8	18.6
火山の噴火等による火山災害への対応	14.1	13.2	15.8
消防団の災害対応	15.6	15.3	14.6
林野火災（山林火災）への対応（※）	-	-	13.1
都外及び国外への災害活動支援	9.7	7.5	8.0
その他	2.2	2.1	1.6

（※）令和7年に追加した選択肢



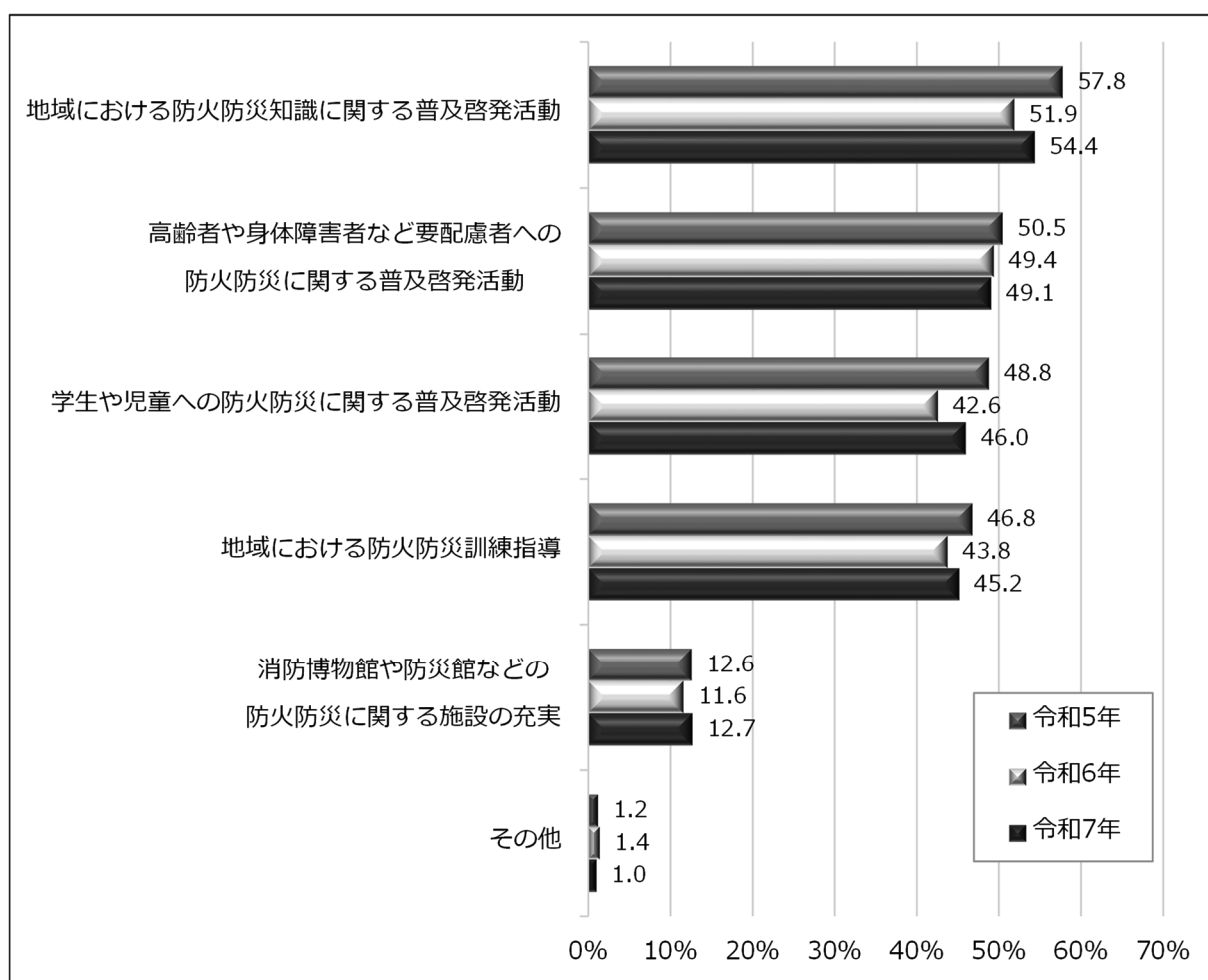
B 東京消防庁の救急業務に関する取組

	令和5年 (n=1,310)	令和6年 (n=1,645)	令和7年 (n=1,622)
救急隊の現場活動	65.9	61.8	65.7
応急手当（AEDの使い方など）の普及活動	57.4	53.8	53.4
救急相談センター（#7119）のサービス内容	40.1	37.6	41.3
その他	2.2	1.9	1.7



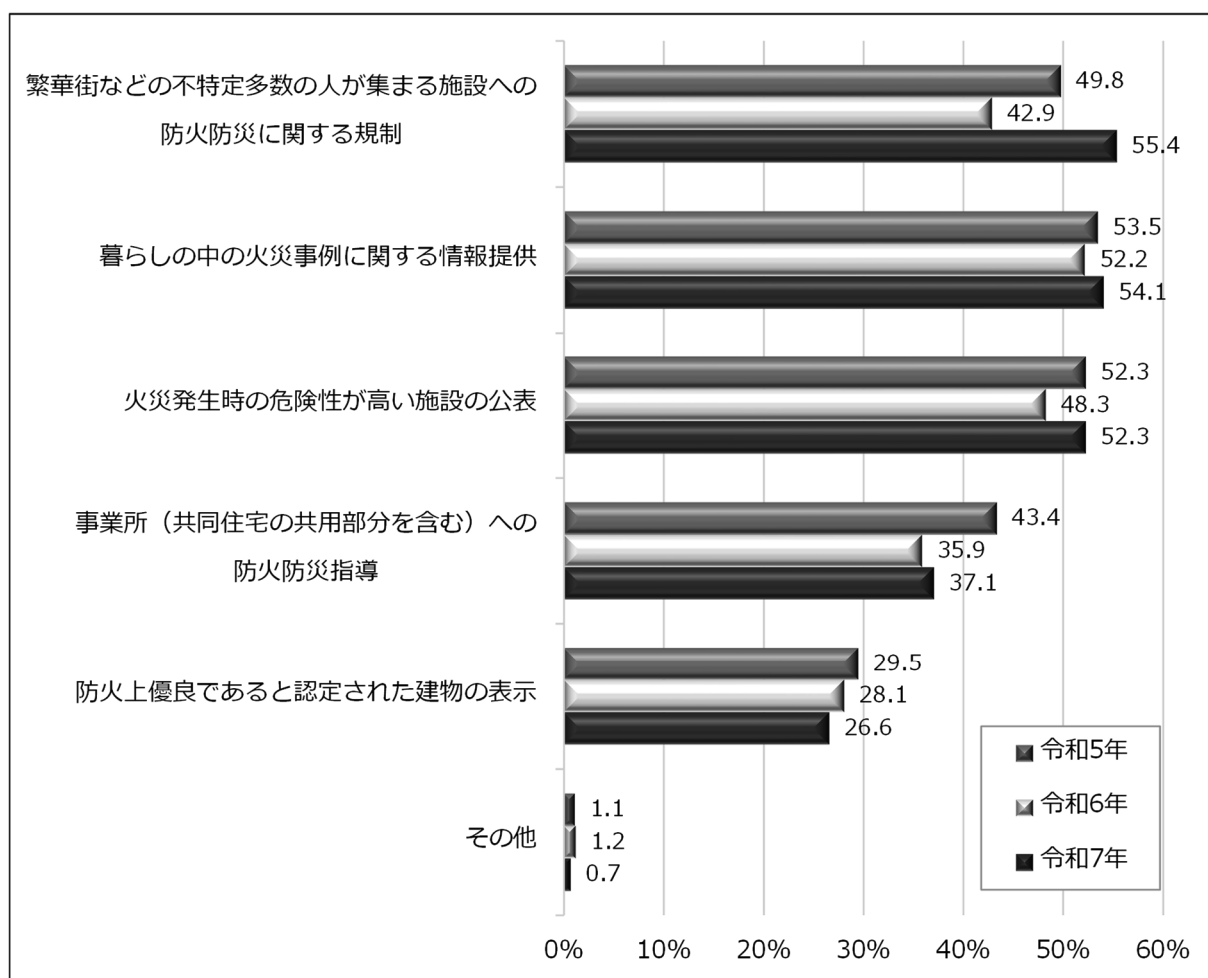
C 都民のみなさまの防災行動力向上に関する東京消防庁の取組

	令和5年 (n=1,316)	令和6年 (n=1,645)	令和7年 (n=1,632)
地域における防火防災知識に関する普及啓発活動	57.8	51.9	54.4
高齢者や身体障害者など要配慮者への防火防災に関する普及啓発活動	50.5	49.4	49.1
学生や児童への防火防災に関する普及啓発活動	48.8	42.6	46.0
地域における防火防災訓練指導	46.8	43.8	45.2
消防博物館や防災館などの防火防災に関する施設の充実	12.6	11.6	12.7
その他	1.2	1.4	1.0



D 東京消防庁の火災予防に関する取組

	令和5年 (n=1,308)	令和6年 (n=1,645)	令和7年 (n=1,635)
繁華街などの不特定多数の人が集まる施設への防火防災に関する規制	49.8	42.9	55.4
暮らしの中の火災事例に関する情報提供	53.5	52.2	54.1
火災発生時の危険性が高い施設の公表	52.3	48.3	52.3
事業所（共同住宅の共用部分を含む）への防火防災指導	43.4	35.9	37.1
防火上優良であると認定された建物の表示	29.5	28.1	26.6
その他	1.1	1.2	0.7



(8) 記述回答

ここでは、各設問の「その他」記述回答について、ご意見、ご要望、利用したご感想などを掲載する。

Q 1 地震発生時の行動（その他内容） 33 件

内容	件数
情報を収集する	12
家族の状況を把握する・家族の安全を確保する	8
家具や物の転倒や落下を防ぐ	3
安全な場所へ移動する	2
その他	8

Q 3 「家具類の転倒・落下・移動防止対策」を実施していない理由（その他内容） 174 件

内容	件数
先延ばしにしている	32
家具がない（大きな家具はない）	30
低い家具・倒れなさそうな家具・倒れても問題なさそうな家具等には実施していない	26
賃貸・借家などで傷をつけることができない	14
自力での対策ができない	10
あまりいることのない部屋だから対策はしていない	6
今後実施する予定	5
建物の構造上対策が難しい	4
見た目が悪い	3
あまり気にしていない	3
時間やコスト面で余裕がない	5
倒れるとは思わない	4
倒れても危険がない場所には実施していない	3
対策の効果に疑問がある	2
その他	27

Q5 119番通報がつながりにくい場合の行動（その他内容） 35 件

内容	件数
救急相談（#7119）に電話	11
家族・知人・周りの人等に相談する	8
病院、医師に連絡する	6
自分にできることをする	3
時間をあけてかけなおす	2
その他	5

Q6 救急車を呼んだ理由（その他内容） 35 件

内容	件数
自分以外の体調不良	17
医師などの判断	7
交通事故で	4
職務上の責任	2
その他	5

Q10 救命講習を受けていない理由（その他内容）91 件

内容	件数
別で受けた・学んだことがある	30
きっかけ、機会がない	16
身体的な理由（高齢・障害等）	13
講習日時や場所などがわからない	8
日程、日時が合わない	5
医療従事者である	4
受けられることを知らなかった	2
その他	13

Q12 応急手当ができない理由（その他内容） 47 件

内容	件数
講習内容を忘れてしまった	15
その時になってみないとわからない	7
セクシャルハラスメントのリスクがある	6
正しくできるか心配	5
身体的な理由（高齢・障害等）	5
実際はパニックになり出来ないと思う	4
その他	5

Q13 最近 1 年間で参加したことのある防火防災訓練等（その他内容） 27 件

内容	件数
学校や地域での訓練	9
会社での訓練	9
その他	9

Q14 防火防災訓練等に参加したことがない理由（その他内容） 71 件

内容	件数
身体的な理由（高齢・障害等）	26
時間がない	9
開催情報がない	9
きっかけ、機会がない	8
ここ一年間では参加出来ていない	3
都合がつかない	2
その他	14

Q18 消防団の入団検討に必要な情報（その他内容） 13 件

内容	件数
年齢制限	3
活動に参加する自由度	2
必要な体力、能力	2
その他	6

Q19 消防団に入団したいと思わない理由（その他内容） 116 件

内容	件数
年齢・体力的に無理がある	54
身体に障害・持病等がある	11
人間関係が煩わしい	11
時間が取れない	9
マイナスなイメージがある	5
自分が女性である	4
家族の面倒をみている	4
自分にできると思わない	3
家族を優先したい	3
怖い	2
その他	10

Q22 消火器等がない理由（その他内容） 88 件

内容	件数
購入しようと思っているが、まだ購入していない	21
処分方法がわからない	11
使用期限が切れてそのままになっている	9
廃棄するのが難しい、負担	6
使用期限が切れて処分した	6
共同住宅・賃貸	5
どこにあるのかわからない	3
オール電化	2
あまり考えていない	2
その他	23

Q28A 東京消防庁に力を入れて欲しい取組

火災などの災害に関する取組（その他内容） 26 件

内容	件数
啓発活動	8
すでに取り組んでいる	5
その他	13

Q28B 東京消防庁に力を入れて欲しい取組

救急業務に関する取組（その他内容） 28 件

内容	件数
啓発活動・広報活動	5
#7119 について	5
感謝、すでに取り組んでいる	4
その他	14

Q28C 東京消防庁に力を入れて欲しい取組

都民のみなさまの防災行動力向上に関する取組（その他内容） 16 件

内容	件数
啓発活動	8
身近な場所での指導	3
その他	5

Q28D 東京消防庁に力を入れて欲しい取組

火災予防に関する取組（その他内容） 12 件

内容	件数
火災時の対処法、火災事例の提供	3
戸建住宅、民泊施設などへの防火指導	3
その他	6

消防と関わった経験（その他内容） 52 件

内容	件数
消防・防災訓練や研修・講習で関わったことがある	18
消防博物館、防災館見学	6
本人、家族、知人が消防官や消防団などに所属している（いた）	5
消防署見学会やイベントで関わったことがある	4
消防署を訪問した	3
救急車に乗ったことがある	2
# 7 1 1 9 を利用した	2
その他	12